

社会福祉法人博友会 平成30年度 事業報告書

法人事業報告

平成30年 5月15日 監事監査

(会計) 財産状況について監査実施

(業務) 業務執行状況について監査実施

平成30年 5月22日 理事会

議事

- ・平成29年度事業報告及び計算書類等の承認について
- ・社会福祉充実残高の算定について
- ・内部管理体制基本方針の決定について
- ・会計監査人候補者の選定について
- ・施設の長の任免について
- ・御殿場市印野地区特別養護老人ホーム施設整備計画について

平成30年 6月 5日 評議員会

議事

- ・平成29年度事業報告及び計算書類等の承認について
- ・社会福祉充実残高の算定について
- ・内部管理体制基本方針の決定について
- ・会計監査人の選任について
- ・会計監査人の報酬について
- ・施設の長の任免について
- ・御殿場市印野地区特別養護老人ホーム施設整備計画について

平成30年 11月15日 監事監査

(会計) 財産状況について監査実施

平成30年 11月16日 監事監査

(業務) 業務執行状況について監査実施

平成30年 11月27日 理事会

議事

- ・平成30年度第一次補正予算について
- ・理事職務権限規程等の制定について
- ・経理規程の変更について
- ・御殿場市印野地区特別養護老人ホーム施設整備計画について
- ・評議員会の開催について

平成 30 年 12 月 11 日 評議員会

議事

- ・平成 30 年度第一次補正予算について
- ・理事職務権限規程等の制定について
- ・経理規程の変更について
- ・御殿場市印野地区特別養護老人ホーム施設整備計画について

平成 31 年 3 月 11 日 理事会

議事

- ・平成 30 年度第二次補正予算について
- ・平成 31 年度事業計画について
- ・平成 31 年度当初予算について
- ・施設の長の任免について
- ・評議員会の開催日時及び議案について

平成 31 年 3 月 25 日 評議員会

議事

- ・平成 30 年度第二次補正予算について
- ・平成 31 年度事業計画について
- ・平成 31 年度当初予算について
- ・施設の長の任免について

特別養護老人ホーム白雪 事業報告

1. 利用者の状況

平成 31 年 3 月末現在

●特別養護老人ホーム(入所)白雪

介 護 度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
御殿場・小山	5	8	36	38	9	96	3.5	30
裾 野	0	2	4	2	1	9	3.2	4
そ の 他	0	3	6	4	2	15	3.3	4
合 計	5	13	46	44	12	120	3.4	38

●短期入所生活介護(ショートステイ)白雪

介 護 度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	0	1	14	15	11	7	2	45	2.5

●通所介護(デイサービス)白雪

介 護 度	事業対象	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	2	9	12	32	15	9	4	2	85	1.7

●居宅介護支援センター白雪

介 護 度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	0	0	46	31	22	14	8	121	2.2

●短期入所生活介護(ショートステイ)百寿

介 護 度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	0	0	16	17	20	21	3	77	2.7

2. 利用者・家族との連携

利用者に快適な生活をしていただくために、利用者本人はもとより、利用者家族に施設へのご理解をいただき、また、率直なご意見をいただくため、日頃より家族とのコミュニケーションを図るよう努めた。

●家族会活動状況

7 月 1 日	施設周辺の草取りボランティア	施設周辺の草取りを職員と協同して行った。 参加人数 ご家族 49 名 職員 35 名
---------	----------------	---

●面会の状況

月	月延べ 件数	1日平均 件数	月	月延べ 件数	1日平均 件数
4	731	24.3	10	847	27.3
5	779	25.1	11	791	26.3
6	746	24.8	12	711	22.9
7	806	26.0	1	839	27.0
8	791	25.5	2	764	27.2
9	776	25.8	3	971	31.3
			平均	796	26.1

●外出・外泊状況

月	件 数
外出	227
外泊	84

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域との交流を図る為、地域交流スペースの地域開放を積極的に行った。

8月に行った納涼祭では、地域住民にも参加を呼びかけ、地区役員、婦人会とともに利用者、家族が盆踊りなどを行い交流を深めた。

●地域交流スペース利用状況

月	内 容
4	27 日 すぎのこ演奏会
5	10 日 ふじかわ健歌謡ショー 30 日 ロッキーマイワタ衣類販売
6	6.7 日 さつき展
7	25 日 旅カラオケ歌謡ショー
8	2 日 樹の会日本舞踊 4 日 アールグレイ音楽会
9	13 日 ふじかわ健歌謡ショー 14 日 敬老会 26 日 民生委員見学
10	25.26 日 文化展
12	1 日 アールグレイ演奏会 14 日 すぎのこ大正琴
3	20 日 ふじかわ健歌謡ショー

※ 毎月 詩吟教室、書道教室、体操教室、カラオケ教室、映画鑑賞に使用

●セミパブリック利用状況

日系外国人の就労支援のために日本語教室の開催場所を提供

年回開催数 75 回 利用述べ人数 108 人

4. 情報公開の取り組み

事業報告書、決算書、事業計画書、予算書をホームページに公開するとともに、受付にて回覧に供している。

『きなこ通信』を発行し、地域の在宅介護支援センターに配布している。

「白雪新聞」を掲示し施設での様子をお伝えしている。

5. 苦情解決の取り組み

玄関前及びデイルーム前にご意見箱を設置。

平成 30 年度 ご意見箱件数 0 件

●事業所別

	特 養	ショートステイ	デイサービス	百 寿
口 頭	3	4	4	2
電 話	1	1	1	1
文書(連絡帳)	1	0	1	2

6. 主な年間行事

外出する機会を増やすことや、家族と一緒に楽しむ、又、地域参加型の行事計画に努めた。

月	行 事 内 容
4	上旬 お花見鑑賞会
6	6.7 日 さつき展・お茶会
7	1～7 日七夕 6 日 朝日小学校交流会 21 日 杉名沢区盆踊り交流
8	5 日 納涼祭
9	14 日 敬老会 29 日 御殿場市ふれあい広場
10	25.26.27.28 日 文化展
11	28 日 朝日小学校交流会
12	5 日 お買い物ツアー 16.17 日 クリスマス会 27 日 餅つき大会
1	上旬初詣
2	1 日 開設記念行事

7. クラブ活動の状況

クラブ活動指導員(ボランティア)による様々なクラブ活動を定期的に行ってきた。ご自分にあった活動を見つけられ、活動日を楽しみにされている利用者も多い。

内 容	指導員数	年間回数	延べ参加人数
カ ラ オ ケ	3	87	982
体 操 教 室	2	20	732
映 画 鑑 賞	1	9	56
詩 吟 教 室	1	18	202
絵手紙教室	1	6	34
書 道	1	30	248

8. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：施設長、介護長、事務長、主任、ユニットリーダー、百寿、デイ、看護師、栄養課、
営繕の各リーダー、生活相談員、居宅管理者

開催日	主 な 議 題
4月9日	・リーダーの役割について ・春の外出行事について ・実習生・グループ新人職員研修について ・預かり金について
5月14日	・排泄表記入について ・議事録などの提出について ・実習生受け入れについて ・各部署連絡事項
6月11日	・勤務表の作成について・駐車場の使用について・防犯予防について ・タイムカードの打刻忘れについて ・各部署連絡事項
7月9日	・接遇、マナーについて ・実習生受け入れについて ・納涼祭について ・グループ内勉強会・研修について
8月13日	・ユニット議事録について ・介護事故について ・職員個別ヒヤリングについて ・実習生の受け入れについて
9月10日	・業務マニュアル見直しについて ・民生委員の見学について ・グループ内勉強会・研修について ・各部署連絡事項
10月9日	・接遇、マナーについて（ディスカッション） ・各部署連絡事項
11月12日	・業務管理について ・冬季感染予防について ・各部署連絡事項
12月10日	・冬季感染対策について ・勤務整理簿、各種届について ・各部署連絡事項
1月15日	・介護事故について ・情報収集シート作成について ・各部署連絡事項
2月12日	・ごみの分別について ・ユニット、部署の整理について ・グループ内の勉強会、イベントについて ・各部署連絡事項
3月11日	・介護事故、接遇マナーについて ・ユニット預かり金について ・各申請書について ・各部署連絡事項

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：各ユニット職員、主任、看護師、機能訓練指導員、生活相談員、栄養士

主な議題：利用者の状態について、他職種の意見も交え、統一したケアができるよう話し合いを行った。

9. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議、勉強会にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
6月27日	業務用食品成長戦略商談会	栄養士	2

月 日	内 容	職 種	人数
7 月 2 日	障害者就業生活支援連絡会	営繕職員	1
7 月 11 日	県老人福祉施設協議会	施設長	1
9 月 5 日	介護保険サービス提供事業者集団指導	管理者 介護員 生活相談員 機能訓練指導員 ケアマネ 事務員	2 1 1 1 1 1
10 月 3 日	安全運転管理者講習会	営繕職員	1
10 月 25 日	感染症対策研修会	看護師	1
10 月 19 日	電子マネーの普及で進む日本のキャッシュレス化	介護員 機能訓練指導員	1 1
11 月 9 日	マネジメント教育	介護員	2
11 月 12 日	糖尿病の栄養管理と運動	栄養士	1
11 月 19 日	ノロウイルス等中毒リスクチェックフォローアップ研修会	管理栄養士	1
2 月 12 日	障害者就業生活支援センター連絡会議	営繕職員	1
2 月 13 日	知っておきたい高次脳機能障害の基礎知識	ケアマネ	2
3 月 9 日	多職種で行なう口腔ケア	看護師 介護員	1 2

10. 研修会の状況

なし

11. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
事故対策 抑制禁止	介護事故を防止し安全で且つ適切に質の高い介護を提供する体制を確立する。危険予知トレーニングの教育を強化する。言葉による抑制をなくし、利用者様との信頼関係を築く。	・緊急事故対策会議への参加及び議事録の掲示。 ・ひやりはっとシートの回収集計、考察。 ・保険者への事故報告(ヒヤリはっと件数は別表) ・勉強会開催『スピーチロックについて』 ・関連書籍の回覧	反省: ・事故対策会議の掲示と会議報告が滞ってしまった。事故対策が実施できているか再度徹底する。 ・L字柵、タッチコール等の把握が滞ってしまう事があった為、管理把握方法を検討。
広 報	白雪での話題を、白雪新聞やグループの情報誌を通じて、利用者様やご家族様、職員及び地域に提供する	毎月白雪新聞を発行。内容は行事、季節の便り、利用者様の活動紹介、短歌や生い立ち等を紹介。7月全国老施協フォトコンテストへの参加。11月文化展にてフォトコンテスト開催。	毎年行われている全国老施協フォトコンテストは、参加するも入選できず残念な結果に終わりました。新聞内容は昨年に比べ内容の充実に心掛けました。フォトコンテストは家族も来訪者も楽しめるので続けていきたい。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
行 事	白雪、百寿をご利用されている皆様とその御家族様に、行事を通じて季節の移り変わりを感じていただき、生活に張りを持ち豊かに過ごしていただく。	4月上旬各ユニット春の外出 6月さつき展 7月朝日小学校交流会・七夕 杉名沢区盆踊り参加 8月納涼祭 9月敬老会・ふれあい広場 10月文化展 11月朝日小交流会 12月クリスマス会・餅つき 1月上旬初詣 2月開設12周年記念	反省： ・準備の段階から計画通りに進まなかった。準備時に人員の確保が出来なかったり当日の人員配置が出来なかったりした。 ・委員各自が責任をもって行動できるようにしたい。
感染対策	施設内の感染防止のための計画立案。職員教育、外部研修参加。感染予防のための環境整備とマニュアルの実施。 感染が起こりにくい環境作り、整備。	4月：食中毒ポスター作成 5月：マットレス乾燥 6月：「感染経路と予防」勉強会。感染予防セットの確認。手洗い指導。各ユニットの感染予防セットの確認・補充・点検。 7月：感染予防セットの結果をまとめ、各部署に配布。天日干し開始。関連書籍回覧。 10月：ノロウイルスとインフルエンザの予防ポスター掲示。感染症研修会1名参加。マットレス乾燥。 11月：感染予防環境整備。 12月：インフルエンザ・ノロウイルス職員へ予防注意ポスター作成。感染症予防物品チェック。 1月：感染症発生時の円滑な対応の確認。インフルエンザ発生状況確認。	反省： ・5月のマットレス乾燥は業者の都合により中止。その為各ユニットでマットレス天日干し対応とした。多くのユニットが7月中に天日干しを終え、対応が可能であった。感染の発生等の異常報告はなかった。来年度も導入検討予定。 ・インフル初期動作・予防対策のために個室対応型の加湿器を導入。熱・咽頭痛・咳嗽症状がある場合など早期に加湿対応ができた。インフル感染者は入所2名、シャワー利用者2名であった。職員の罹患は無し。11月からマスクの装着は前年度より定着していた。
省 エ ネ	無駄な消費を抑え、経費の削減と地球にやさしい環境整備に取り組む。	・節電に関する取り組み(点灯、消灯、エアコン)の見直し ・ユニット内調査 ・照明LED化についての検討 ・断熱材外気熱遮断の実験	反省：施設内の小まめな消灯・エアコン使用状況(設定温度厳守呼びかけ)も継続して実施。微力ながら寄与できた。
教 育	職員の知識を高めるため、毎月勉強会を行う。	5月急変時の対応・6月食中毒 7月選択授業・8月事故抑制 9月選択授業・10月安全衛生 11月冬季感染症・12月対策 1月事故抑制・2月エッセイ発表 3月追試	反省：勉強会出席カードを作成し職員の参加を促した。今後継続して続けて、更に職員の参加を増やせるようにしたい。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
安全衛生	職場における職員の安全と健康を保持し、快適な職場環境の形成を促進する。	毎月：作業環境管理チェック、給食従事者の検便、雇用時健康診断、腰痛・リフレッシュ体操、定期委員会の開催 8/7.8 職員健康診断・ストレスチェック(診断事後指導) 9/16.17 利用者健康診断 10/25 勉強会「職場のストレス軽減」54名参加 2/13.15 特定業務従事者健康診断(深夜業) (特定診断事後指導)	反省： ・利用者と共に、職員が取り組めるよう腰痛予防としてテレビ体操を勧めたが協力体制が整わず、意識を持って勧めてもらうことが出来なかった。 ・勉強会の内容は興味を持ってもらい好評で、54名の参加があった。準備段階での不足部分があり難しかった。
園芸・飼育	・美化活動 ・花を見て四季を感じて頂く。 ・飼育活動を行い、動物を見て触れ合いながら楽しんで頂く。	・園芸活動 白雪、百寿周辺の草取り、花植え、水撒き、花壇整備、追肥 ・飼育活動 日常飼育、飼育小屋の内、外周りの清掃。	反省： ・飼育に関しては毎日しっかりと行った。 ・前年度に引き続き1階の花壇の整備が未実施。
給食	・利用者様に合った食事内容の見直し、衛生管理の指導。 ・嚥下・摂食障害への対応や予防について助言指導・啓発。	毎月：冷蔵庫チェック・白雪レストラン(献立表)発行。誕生日献立、行事献立の考案・実施献立の反省 6月 摂食嚥下に関する確認表の作成 7月 給食・嚥下委員会の規定について作成・摂食嚥下機能情報シート作成 8月 口腔嚥下体操の啓発について 11月 摂食嚥下について勉強会開催 1月 自助具の管理について	反省： ・摂食嚥下に関する確認表、摂食嚥下機能情報シートの作成と実施ができたことが大きな取り組みの成果だった。 ・嚥下体操の普及についてはさらに継続する必要がある。
看取り (こもれびの会)	看取り体制の充実を図り施設全体で質の高いケアを目指し実践していく。利用者が充実した生活を送れるよう寄り添い手助けをする。	4月 看取り援助に関する各書式・年間事業計画・運営方法・各担当者を確認。 5・6月 看取り開始カンファレンス用紙の改定・検討。造花試作品検討。 7月 ご長寿マップ作成・検討 8月 ご長寿マップ完成 9月 ご長寿マップ掲示開始 10月 書籍回覧・メイク道具の見直し 11月 書籍回覧後感想発表会 12・1月 退所後の荷物保管・管理方法検討 2月 来年度課題・予算検討 3月 1年の振り返り	反省：看取り開始前にカンファレンス用紙を配布した事で、カンファ内容が明確化し容易に開催することが出来た。継続評価の運用方法が滞ってしまう事があり、運用方法の検討が課題。 ・造花作成は新しい取り組みが開始でき、家族からの高評価も得た。 ・ご長寿マップは敬老会に間に合うようにできた。 ・退所後の荷物管理は具体的な方法が決まらず、次年度への課題として申し送る。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
	・火災等人的災害の予防と地震等の自然災害時の救助および、被害の軽減を図る。 ・生活のいろ	4/18 防災設備の使用説明。防災教育。9名参加。 5/16 非常滑り台を使用した避難誘導訓練。14名参加。 6/20 非常階段を使用した避難訓練。20名参加。 7/18 消火訓練。18名参加。 8/15 テント設営訓練7名参加。	反省： ・少しでも参加人数を増やせるように周知していく。 ・職員が利用者に付き添い声掛けをしながら避難する。 ・夜間帯の人員を考慮した場合、避難の仕方を周知していく。 ・消火方法だけでなく、ポンプ室
防 災	いろな場面を想定して訓練を行う。 ・防災用具等の使用方法と効果を認識する。 ・BCP の内容理解や改善を目的とした教育、訓練を行う。	9/19 グループ緊急メールを使用した情報伝達訓練 120名参加 10/1 総合防災訓練 職員 92名・利用者 200名参加。 11/21 呼集訓練 60名参加。 12/19 百寿を対象とした避難訓練 11名参加。 1/16 一階避難誘導、消火、情報伝達訓練。(インフルエンザ感染予防の為中止) 2/20 二階避難誘導、消火、情報伝達訓練。(インフルエンザ感染予防の為中止) 3/18 防災機器のチェック6名参加。	の場所、停止ボタンの操作についても周知できた。 ・台風時の飛散防止等に日頃から注意していく。 ・今後は、グループ緊急メールを使用していくので送受信がスムーズにできるようにする。 ・事前説明や放送無しでも初動対応できるようにする。 ・メール以外の電話連絡方法を考えていく。 ・実践的な訓練を行い、参加者のレベルを上げていく。

白雪 事故対策・抑制禁止委員会 活動報告別表

●平成 30 年度 ヒヤリ・はっと集計報告

場所 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
白 樺	0	0	0	0	0	1	5	0	5	3	4	4	22
楠	0	0	3	2	12	1	11	4	21	12	2	6	74
椿	6	5	0	11	8	2	5	1	1	6	10	17	72
桜	3	8	1	0	2	1	4	3	1	0	3	2	28
白 百 合	1	2	3	5	7	3	4	6	0	2	4	3	40
牡 丹	0	5	11	0	3	1	1	0	0	2	2	3	28
山 吹	1	18	6	0	4	1	7	0	0	3	4	4	48
天 城	3	2	2	9	0	0	3	6	1	0	3	8	37
愛 鷹	0	0	0	2	2	0	2	0	1	1	5	4	17
金 時	0	0	0	6	5	0	7	6	1	4	11	10	50
足 柄	0	5	5	4	4	1	5	4	0	1	3	4	36
富 士	0	0	0	0	2	6	5	0	1	6	3	7	30
シ ョ ー ト	9	14	0	12	6	3	14	16	11	15	9	4	113
百 寿	15	5	2	5	0	0	3	9	3	9	10	8	69
デ イ	9	4	8	8	20	0	5	3	3	6	2	4	72
ユニット外	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合 計	47	68	41	65	75	20	81	58	49	70	75	88	737

内容 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
転 倒	22	36	14	28	30	10	39	30	21	24	18	21	293
転 落	7	4	10	5	16	5	22	15	11	11	20	26	152
対人トラブル	0	1	0	2	3	1	0	0	0	1	1	2	11
離 設	2	2	0	7	4	1	3	2	2	14	4	4	45
異 食	2	1	2	1	1	0	2	0	1	1	3	1	15
暴言・暴力	1	2	2	2	2	0	0	0	0	2	4	2	21
不 潔 行 為	2	7	7	5	7	0	6	2	5	4	10	21	76
誤 嚥	1	1	2	0	0	0	1	0	1	2	0	0	8
誤 薬	1	2	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	7
外 傷	7	5	0	10	7	2	5	4	6	2	6	4	58
そ の 他	1	7	3	4	10	1	5	5	1	7	7	6	57
時間帯\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
7 時～13 時	16	26	11	26	33	3	25	13	11	18	22	28	232
13 時～19 時	13	17	11	16	27	10	25	17	13	19	16	25	209
19 時～ 0 時	11	8	4	7	8	4	15	13	19	12	12	13	126
0 時～ 7 時	7	15	13	16	12	4	17	15	6	20	24	21	170
不 明	0	0	2	1	0	0	1	0	0	1	1	1	6

●平成 30 年度 事故集計報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
事故報告件数	2	1	1	2	2	2	4	2	1	4	4	0	25

とらのこ保育園 事業報告

1. 利用状況

入所児童数：定員 90 名

月	乳児	1・2歳児	3歳児	4歳児以上	合計
4	5	30	22	35	92
5	5	30	22	35	92
6	6	30	22	35	93
7	6	29	22	35	92
8	8	30	22	35	95
9	9	30	22	34	95
10	9	30	22	34	95
11	9	30	22	33	94
12	9	31	22	33	95
1	9	30	22	32	93
2	9	29	22	32	92
3	9	29	22	33	93
合計	93	358	264	406	1,121

事業名	延べ利用人数
一時預かり保育	1,363 人
延長保育	1,786 人
休日保育	228 人
病後児保育	31 人

2. 主な年間行事

月	内 容
4	2 日 入園式 17 日 幼年消防任命式（年長児）
5	8 日 救助隊見学（年長児） 11 日 歯科検診 24 日 春の親子遠足 31 日 内科検診
6	2 日 保育参観・懇談会 21 日 すずらん保育所との交流
7	2 日 プール開き 3 日 花火教室 14 日 とらのこまつり 27 日 卒園児との集い
8	27 日 年長児冷茶教室 31 日 プール閉め
9	3 日 総合防災訓練 23 日 運動会
10	11 日 秋の遠足 12 日 保育所職員研修会 31 日 防火パレード
11	17・24 日 保護者会奉仕作業 14 日 七五三祝い
12	8 日 クリスマス発表会 20 日 もちつき大会
1	23・28 日 保育参観
2	1 日 節分の会 12 日 交通安全教室 21 日 年長児幼年消防修了式
3	12 日日 雛祭り・人形劇 5 日 お別れ遠足 12 日 お別れ会 23 日 卒園式

3. 会議開催の状況

●代表者会議

開催時期：毎月第1水曜日

出席者：園長、主任保育士、各クラス代表保育士

開催日	主 な 議 題
4月4日	・各クラスの問題点 ・委員会連絡 ・研修予定 ・親子遠足について
5月9日	・各クラスの問題点 ・委員会連絡 ・とらのこまつりについて
6月13日	・各クラスの問題点 ・委員会連絡 ・とらのこまつりについて ・七夕祭りについて
7月11日	・各クラスの問題点 ・運動会について ・防災訓練について
10月11日	・各クラスの問題点 ・遠足について ・研修について
11月15日	・各クラスの問題点 ・保育の日の研修について ・保育参観について
1月13日	・各クラスの問題点 ・実習生について
1月10日	・各クラスの問題点 ・感染症について ・委員会連絡 ・豆まきについて
2月14日	・各クラスの問題点 ・ひなまつりについて ・卒園式反省・入園式について

●全体会議

開催時期：毎月第4水曜日

出席者：全職員

開催日	主 な 議 題
4月2日	・行事予定の内容、連絡 ・各委員会の事業計画 ・保育指導計画 ・その他
4月25日	・行事予定の内容、連絡 ・各委員会の事業計画 ・他園交流について
5月23日	・保育参観、プール開き、とらのこまつりについて ・保育参観、総会について
6月27日	・5月の行事反省 ・とらのこまつり ・卒園児との集い ・各委員会より
7月25日	・6月の行事反省 ・防災訓練 ・運動会について ・各委員会より
9月3日	・7～8月の行事反省 ・防災訓練の反省 ・敬老会、遠足、運動会について
9月28日	・9月の行事反省 ・秋の遠足 ・保育の会 ・入所予定について ・各委員会より
10月23日	・10月の行事反省 ・発表会 ・芋ほり ・七五三について ・各委員会より
11月28日	・11月の行事反省 ・餅つき ・クリスマス発表会について ・各委員会より
12月26日	・12月の行事反省 ・保育参観について ・各委員会より
1月23日	・1月の行事反省 ・保育参観 ・節分の会、人形劇、卒園式、お別れ会について
2月20日	・2月の行事反省 ・ひな祭り ・お別れ遠足 ・卒園式 ・入園式について
3月23日	・3月の行事反省 ・卒園式 ・入園式について ・次年度の行事等確認

4. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議等にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
4月14日	御殿場市保育の会総会	園長・保育士	9
4月26日	静岡県保育連合会総会	園長	1
5月11日	静岡県保育研究大会	保育士	2
6月21日	静岡県保育士等キャリアアップ研修	保育士	2
7月3日	静岡県給食協会研修	栄養士	2
7月12日	静岡県御殿場市感染予防研修	保育士	2

月 日	内 容	職 種	人数
8 月 8 日	静岡県福祉サービス苦情解決研修	保育士	1
8 月 20 日	御殿場市発達・教育支援センターの取り組み	保育士	2
8 月 30 日	静岡県保育士等キャリアアップ研修・幼児教育	保育士	2
9 月 11 日	静岡県保育士等キャリアアップ研修・幼児教育	保育士	2
9 月 26 日	静岡県保育士等キャリアアップ研修・乳児保育	保育士	2
10 月 11 日	御殿場市保育の会・保育の日	保育士	18
10 月 15 日	静岡県保育士等キャリアアップ研修・障害児保育	保育士	2
10 月 18 日	静岡県保育士等キャリアアップ研修・障害児保育	保育士	2
11 月 1 日	静岡県保育連合会主任保育士研修	主任保育士	1
11 月 15 日	静岡県民間保育所施設長研修	園長	1
1 月 22 日	静岡県保育士会リーダーセミナー	主任保育士	1
1 月 24 日	静岡県保育連合会 施設長研修会	園長	1
1 月 25 日	焼津市たかくさ保育園園長「新保育要録」について	保育士	2
2 月 07 日	静岡県人権教育指導者研修会	保育士	1
2 月 12 日	静岡県保育士等キャリアアップ研修・マネジメント	保育士	2
2 月 19 日	静岡県保育士等キャリアアップ研修・マネジメント	保育士	1
3 月 4 日	静岡県保育士等キャリアアップ研修・マネジメント	保育士	2

5. 委員会事業報告

保育園独自で委員会を編成している。毎月1回委員会を開催し、園運営の環境整備や衛生面の職員周知徹底を基本に、職員会議にて報告して委員会の充実を図る。

委員長が必要性を認める場合は園長が委員会に参画し、運営の充実を図った。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
教 育	常に新しい知識・技能を吸収し専門性の高い保育を目指す為、勉強会や研修を企画し実施する。 園内研修の充実を図り職員の活動意欲を高める。日程を分けて職員全員の参加を基本とする。 研修会等を通じて職員間の連携と情報共有を図る。	・年間を通じた園内研修 - 第1回グループディスカッション「年間指導計画について」 - 第2回グループディスカッション「園内研修について」 ・博友会の研修会参加 ・原里地区一貫研研修の参加 ・県内外の外部研修参加 ・衛生委員会との共同で、看護師による感染症の知識を学ぶ。	・職員全体で一つのテーマに取り組み考える事により、保育に対し共通理解を深め、知識や技能の向上に繋がった。 ・配慮の必要な子に対する専門的知識を得ることができた。 ・次年度は外部講師などを招いての講習も企画したい。
広報・写真	園内の壁面装飾と写真、HPの管理。 園児の生活風景を写真として記録し、保護者も子どもの成長を感じられるようにする。	・写真の整理、注文 ・カメラ関係備品の管理 ・HPの更新 ・園内の壁面装飾 ・行事におけるスライド等製作	・カメラ等の使用方法についてルールを定め、利用しやすくした。 ・各委員が協力し、円滑に進められた。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
保健衛生	病気の対応、環境衛生の管理を定め、園児の健康保持・増進を図る。 アレルギー児の確認、周知を図る。又、変更は随時知らせる。 看護師による指導を受ける。 感染症予防対策として、加湿器を活用する。	・救急箱および各クラスの救急箱の管理(補充) ・消毒液の回収・補充 ・感染罹患シート回収・集計 ・掲示板にを設置して、定期的に感染症や衛生管理の手洗いの仕方等を掲示する。 ・感染予防講習会参加 ・園児への保健指導 ・アレルギー児の表を作成配布。 ・アスファ水を使い効果を上げる	・健康管理について保護者だけでなく園児へも促すことができた。そのため家庭にて健康についての会話も広がったようである。 ・アレルギー児の増加により、各クラスで誤飲の無い様全体の表を作成・配布し職員間で確認がとれた。 ・健康に過ごせる。
環 境	人・物・場等の環境が相互に関連し合い、子どもの生活が豊かになるよう計画的に構成する。 保育環境の整備、向上とともに、施設内外の設備遊具等の管理をする。 修繕の個所を見つけ依頼する。	・用品、備品、教材等の管理、教材室の整理、整頓。 ・園庭遊具の安全確認。 ・定例委員会後に教材庫の見回りをする。 ・ヒヤリハットの管理・報告。 ・各クラスの不備を受け止め、園長に報告、改善を図る。	・月に2回の物品発注が習慣化してきた。 ・環境チェックシートをうまく活用できた。 ・ヒヤリハットは、呼びかける事で意識が高まりつつある ・他施設な為、営繕の依頼に時間がかかる。
食 育	食育に関する年間計画を定め実施のサポートをする。 食物を育てる楽しさ、調理や食事の楽しさを味わう。 身近な食材に興味関心を持たせ、食物を大切に作る心を育てる。	・食育実践の計画を立て、準備に携わる。(苗付、草取り等) ・食育ひろば(掲示板)作成 ・食育だよりの発行。 ・食育のアンケートを配布、結果を報告する。 ・園舎西側に年長児用の畑を作り身近に位置付けることで関心を高める。	・食育便りでは、保護者へ関心を高められた。 ・食育ひろばをうまく利用したい。 ・園児に向けた様々な食育をもっと発信していきたい。 ・園庭に小さな畑を設けて植物への関心を身近なものにできた。

特別養護老人ホーム高砂 事業報告

1. 利用者の状況

平成 31 年 3 月末現在

●特別養護老人ホーム(入所)高砂

平均在所期間

3 年 3 ヶ月

介 護 度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
沼 津	3	8	18	24	12	65	3.5	26
御 殿 場	0	1	1	1	0	3	3.0	0
裾 野	0	0	1	1	0	2	3.5	1
長 泉	0	0	0	1	0	1	4.0	0
三 島	0	0	2	0	1	3	3.6	0
そ の 他	0	1	2	1	0	4	3.0	6
合 計	3	10	24	28	13	78	3.4	33

●通所介護(デイサービス)高砂

介 護 度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	2	6	7	3	1	1	0	20	1.3

2. 利用者・家族との連携

日頃から家族との会話を積極的に行い、忌憚のない意見を聞くことにより、家族との距離を縮め、より親しみある施設の構築に努めた。

面会の状況

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	170	5.6	10	161	5.1
5	195	6.2	11	157	5.2
6	202	6.7	12	127	4.0
7	186	6.0	1	109	3.5
8	158	5.0	2	77	2.7
9	185	6.1	3	122	3.9
				平均	200

3. 苦情解決の取り組み

玄関前にご意見箱を設置 ご意見投稿件数 3 件

4. 主な年間行事

本年度は外出を伴う機会(行事)を増やすことにより、利用者の皆様に季節を感じ又、気分転換を図ってもらえるような事業計画に重点をおき、地域の行事への参加も実施した。

行 事 内 容			
4	3月下旬～4/2日 お花見	10	25～31日 紅葉ツアー・ドライブ
5	1日創立記念、記念撮影	11	写真展 19～26日
6	なし	12	16日クリスマス会、20日餅つき
7	1～4日七夕祭り 19・26日 運動会	1	1～4日 初詣、書初め
8	19日 納涼祭	2	3日 豆まき
9	17日 敬老会	3	12日～16日 文化展

5. クラブ活動の状況

日頃外出の機会の少ない利用者の皆様に少しでも楽しい時間を過ごしていただけるよう、クラブボランティアによる催しを定期的に行い、文化活動や娯楽の提供を行った。

内 容	指導員数	年間回数	内 容	指導員数	年間回数
体 操	1	84	壁画制作	2	8
カラオケ		52	絵 手 紙	2	6
脳 ト レ	1	24	手 芸	1	6
歌	3	12	詩 吟	1	6
傾 聴	2	12	映画鑑賞		6
書 道	1	12	大 正 琴	3	1

6. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2木曜日

出席者：施設長、事務長、院長、ユニットリーダー、デイ、看護師、クリニック

開催日	主 な 議 題	
4月12日	・介護、診療報酬の実績報告	・リーダーの心得 ・基本介護について
5月10日	・介護、診療報酬の実績報告	・業務改善改善について
6月14日	・介護、診療報酬の実績報告	・リスクマネジメントについて
7月12日	・介護、診療報酬の実績報告	・施設内の感染予防について
8月 9日	・介護、診療報酬の実績報告	・教育の心得
9月13日	・介護、診療報酬の実績報告	・残業時間の削減について
10月11日	・介護、診療報酬の実績報告	・コストの削減について ・個別ケアについて
11月 8日	・介護、診療報酬の実績報告 ・施設内の感染予防について	・教養娯楽費の活用について
12月13日	・介護、診療報酬の実績報告	・年末の大掃除の実施について
1月10日	・介護、診療報酬の実績報告	・施設内の感染予防について
2月 7日	・介護、診療報酬の実績報告 ・リーダー登用試験について	・基本介護について ・業務改善について
3月 7日	・介護、診療報酬の実績報告	・教養娯楽費の活用について

●カンファレンス・ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回(第1～第4水曜日)

出席者：各ユニット職員、看護師、機能訓練指導員、生活相談員、栄養士

主な議題：個々の利用者様の状態について多職種の意見も聞く中で、よりその人に合ったケアを目指して意見交換を行った。

7. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議、勉強会にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
6 月 7 日	地域つながる会議	ケアマネ他	4
7 月 3 日	コーチング研修	介護員	1
7 月 20 日	介護職が知っておきたい高齢者の褥瘡等ケア	介護員	2
9 月 3 日～11 月 10 日	喀痰吸引研修(8 日間)	介護員	2
10 月 8 日	医療的ケア教員講習会	看護師	1
2 月 23 日	レビー小体型認知症研究会	看護師他	2

8. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
業務改善	業務改善案を募り、検討する。 採用の場合には実施をサポートする。	各ユニット及び部署毎に 業務改善計画を作成し、 毎月進捗度をチェック	計画の実行速度にバラツキ があり、50%程度しか改善 できない部署があった。
広報・PC	施設の活動内容をご家族、地 域の方々に広く周知する。 職員のパソコン技術向上を図 る。	・毎月の高砂新聞の発行 ・パソコン勉強会開催	・新聞の定期的な発行がで きた。今後も内容を充実さ せ発信していく。・PC技術 向上の為勉強会開催。
抑制・ 事故対策	安全でその人らしい生活を支 援できるよう介護体制を確立す る。事故防止の為危険予知や危 険を回避する能力を身につけ る。身体拘束について理解を深 め見えない拘束を廃止。	・ヒヤリはっとの集計、事故 対策会議での対策検討、 事故防止の呼びかけ。 ・身体拘束に対して職員 への意識付け。	・ヒヤリはっとなについては十 分理解されているが、事故 防止の対策とスピーチロック についても積極的に今後も 取り組んでいく。
行 事	行事を通して、利用者様に季 節を感じて頂き生活への張り合 いや変化を楽しむ機会を設け る。 地域行事に参加し、地域の交 流を持つ。	4 月花見 5 月開設記念 7 月七夕祭り、運動会 8 月納涼祭 9 月敬老会 10 月紅葉ツアー 11 月写真展 12 月クリスマス会、餅つき 3 月文化祭	・計画に対する実行がスム ーズにできなかった。 ・今後は、計画内容を事前 に周知し、職員の協力体制 を充実させる。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
感染衛生	労働安全法に基づき職場における職員の安全と健康を保持し、快適な作業環境の形成を促進する。施設内感染予防対策の計画、職員研修等を実施する。	・感染予防の啓発活動や感染予防の実践活動を行った。 ・職員の健康診断実施 ・利用者の健康診断の実施	・感染症が拡大することがなかった。感染症に対する知識を職員へ周知徹底していく。 ・腰痛予防やメンタルヘルス対応も行っていく。
給食	栄養課業務の改善及び給食の内容充実を図る。	・給食だよりを毎月発行 ・行事メニューの策定 ・実施献立の反省 ・嗜好調査	・給食だよりの発行は定期的にできた。 ・実施献立の反省を食事提供に反映できるよう今後行う。
防災	火災等の人的災害の予防、地震等の自然災害時の救助及び被害の軽減を図る。	毎月、さまざまな火災状況を想定し、消火活動や通報訓練、誘導訓練を行った。 BCBの作成。 夜間防災避難マップの作製。	・利用者様も参加してもらう訓練が少なかったので、今後は実際に近い形で訓練ができるようにしていく。 ・火災だけでなく様々な災害を想定して行っていく。
教育	職員の業務上必要な知識、技術の向上を図ると共に、施設内外の発表も積極的に行い、職員のスキルアップに繋がるよう、勉強会、研修会等を企画する。	4月 職場におけるチームワーク 各ユニット目標設定 5月 認知症について 6月 食中毒について 7月 事故対策について 8月 適切な記録の残し方 9月 急変時対応ポイント 10月 感染症について 11月 リスクマネジメント 12月 抑制禁止について 1月 ユニット発表予演会 夜間緊急時対応 2月 1年間の振り返りテスト 3月 ユニット発表会 夜間緊急時対応	・毎月の勉強課題を十分検討した。 ・課題や内容の評価を行うなど、内容の充実を図った。
喀痰	胃ろう・吸引の必要な利用者様の状態把握をする。 職員への知識技術の評価・指導を行う。	・毎月、利用者様のカンファレンスを行った。 ・職員に対し評価・技術指導を行った。	・看護師がついて指導している。今後もカンファレンスを行い、利用者様の状態を把握した上で、実施していく。

特別養護老人ホーム・高齢者住宅などしこ 事業報告

1. 利用者の状況

平成 31 年 3 月末現在

●特別養護老人ホーム

介 護 度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
富士河口湖町	0	0	8	14	7	29	4.0	58

●高 齢 者 住 宅

介 護 度	自立	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合 計
富士河口湖町	5			3	6	4			18
富士吉田市	2			3	4	5			14
都 留 市				2	2	1	1		6
鳴 沢 村				3	1				4
大 月 市				3					3
西 桂 町				1		1			2
山 中 湖 村	1			1					2
千 葉 県					1		1		2
東 京 都							1		1
神 奈 川 県					1				1
合 計	8	0	0	16	15	11	3	0	53

2. 利用者・家族との連携

面会の状況 ●特別養護老人ホーム

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	122	4.0	8	190	6.1	12	326	10.5
5	178	5.7	9	143	4.7	1	322	10.3
6	179	5.9	10	182	5.8	2	11	0.3
7	143	4.6	11	217	7.2	3	232	7.4
						合計	2,245	6.1

面会の状況 ●高 齢 者 住 宅

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	220	7.3	8	182	5.8	12	252	8.1
5	193	6.2	9	155	5.1	1	245	7.9
6	140	4.6	10	150	4.8	2	113	4.0
7	158	5.0	11	169	5.4	3	250	8.0
						合計	2,227	6.1

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域交流スペース利用状況

月	内 容
4	毎週金曜日/歌体操 25 日/勉強会 29 日/カラオケ教室 第 2・4 火曜日/詩吟教室 12 日/運営推進会議
5	毎週木曜日/健康科学大学生体操教室 毎週金曜日/歌体操 29 日/詩吟教室 27 日/カラオケ教室 23 日/勉強会
6	毎週木曜日/健康科学大学生体操教室 毎週金曜日/歌体操 第 2・4 火曜日/詩吟教室 14 日/運営推進会議 27 日/勉強会 24 日/カラオケ教室
7	毎週金曜日/歌体操 第 2・4 火曜日/詩吟教室 12 日/健康科学大学体操教室 25 日/勉強会 18 日/ひばりやすらぎ会 (地域交流事業)
8	毎週金曜日/歌体操 28 日/詩吟教室 11 日/運営推進会議 26 日/カラオケ教室 22 日/勉強会
9	毎週木曜日/健康科学大学生体操教室 毎週金曜日/歌体操 25 日/詩吟教室 13 日/敬老会 20 日/おはぎ作り 24 日/カラオケ教室 26 日/勉強会 12 日/ひばりやすらぎ会 (地域交流事業)
10	毎週木曜日/健康科学大学生体操教室 毎週金曜日/歌体操 4 日/運営推進会議 5 日/秋の味覚を楽しむ会 21 日/カラオケ教室 24 日/勉強会 26 日/福祉用具研修会
11	毎週木曜日/健康科学大学生体操教室 毎週金曜日/歌体操 2 日/文化祭 26 日/カラオケ教室 28 日/勉強会
12	毎週金曜日/歌体操 16 日/クラシックコンサート 25 日/映画鑑賞会 20 日/運営推進会議 13 日/健康科学大学生体操教室 2 日/クリスマス会 26 日/勉強会 23 日/カラオケ大会 11 日/餅つき大会
1	毎週金曜日/歌体操 30 日/新年会 (フラダンス) 15 日/餅ばらづくり 28 日/カラオケ教室 23 日/勉強会
2	毎週金曜日/歌体操 20 日～/ひな人形飾り ※感染症にて地域交流スペース利用中止
3	毎週金曜日/歌体操 5 日/詩吟教室 22 日/ぼたもち作り 27 日/勉強会 24 日/カラオケ教室

4. 情報公開の取り組み

玄関入り口に運営規程、重要事項説明書の掲示を行っている。

5. 苦情解決の取り組み

玄関前にご意見箱を設置 ご意見箱件数 平成 29 年度 なし

平成 30 年度苦情件数 2 件(苦情相談窓口受付)

6. 主な年間行事

月	行 事 内 容
4	11 日/お花見（富士ビューホテル、河口湖北岸地区）
5	1 日/6 周年開設記念行事（ピアノ演奏、歌、踊りー小佐野文様、吉田千鶴様（声楽家）、 かつぽれ愛好会） 17 日/歌って・踊って・笑って だるま会（歌、踊り） 23 日/外食ツアー（ごはん処大戸屋）
6	14 日/なでしこ・グループホームはまなす合同運営推進会議にて消防署職員の指導に よる心肺蘇生（AED）講習会 21, 22 日/ 河口湖ハーブフェスティバル見学
7	7 日/七夕 14, 17 日/学習ツアー（河口湖美術館、クニマス展示館） 18 日/やすらぎ会
8	5 日/河口湖湖上祭花火見物 11 日/2018 はまなす・なでしこ納涼祭 27 日/外食ツアー（中華レストラン バーミヤン）
9	12 日/工作教室（七軒町住民参加）松ぼっくりを使った作品づくり 13 日/なでしこ敬老会（オカリナ演奏、踊り） 20 日/おはぎ作り 29 日/なでしこ映画鑑賞会「湖の中の観覧車」
10	4 日/防災・避難訓練 5 日/「秋の味覚」を楽しもう会（秋刀魚の塩焼き） 31 日/学習ツアー（山梨県立博物館）
11	1～30 日/第 7 回文化祭作品展示 2 日/第 7 回なでしこ文化祭芸能発表（ピアノ演奏、歌、踊りー小佐野文様、なでしこ 合唱団、なでしこ職員フラダンス愛好会） 29 日/フルートコンサート（渡辺学様）
12	2 日/クリスマス会・音楽コンサート（ミスティー：山口洋子様、渡辺道義様、月見裕 二様、山口エリ様、榊原和義様） 11 日/餅つき大会 16 日/トーマスヴィンクラット・レナタリチノヴァスカ「ヴァイオリン&ピアノ コンサート」 25 日/なでしこ映画鑑賞会「小さな大きな富士山と」
1	7 日/七草粥 15 日/小正月行事餅ばら作り 30 日/フラダンスショー
2	3 日/なでしこ豆まき 20 日～3 月 4 日/ひな人形飾り
3	14 日/なでしこ映画鑑賞会「いつか見る富士山」 22 日/ぼたもち作り
その他	毎週火曜：ペン習字教室 毎週木曜：健康科学大学生健康体操 毎週金曜：歌体操 第 4 日曜：カラオケ大会 第 2・4 火曜日：詩吟教室 第 2 水曜日（7 月～10 月：切り 絵教室 月曜日（講師の都合による）：編み物教室

7. 会議開催の状況

●なでしこ管理者会議

開催時期：毎月第1火曜日

出席者：施設長、サービスマネージャー、各部署リーダー、管理栄養士
事務、看護師、生活相談員、高齢者住宅ヘルパー責任者

議事内容：各部署より報告、施設内連絡事項伝達、処遇・設備等相談

●全体会議

開催時期：2ヶ月に1回開催

出席者：全職員

議事内容：各ユニット、各委員会、各部署より報告、施設内連絡事項伝達

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：各ユニット職員、生活相談員、看護師、栄養士、介護支援専門員

議事内容：ケースカンファレンス、業務見直し、ユニット行事計画

●各種委員会

開催時期：各委員会月1回

出席者：各委員会職員

議事内容：各委員会の年間計画、目標に沿って話し合い

●給食会議

開催時期：毎月第1火曜日

出席者：施設長、管理栄養士、ユニットリーダー

議事内容：食事に関するヒヤリ・はっとの分析、メニュー、食材についての意見交換

●リーダー会議

開催時期：毎月第1火曜日

出席者：施設長、生活相談員、ユニットリーダー、厨房リーダー

主な議題：各ユニットからの報告、職員の指導、入居者の処遇、勤務について、栄養課より

●運営推進会議

出席者：富士河口湖町介護保険係長、地域包括センター長、七軒町自治会、民生委員、
福祉委員、ご家族、第三者委員、施設長、生活相談員

開催日	内容
4月12日	高齢者住宅について・施設の栄養士の役割り 説明
6月14日	富士五湖消防本部による AED 講習会
8月11日	納涼祭見学
10月4日	合同避難訓練・消火訓練
12月20日	ご家族アンケート実施しての報告・意見交換
2月	感染症流行により中止

8. 外部研修参加の状況

月 日	内 容	職 種	人数
5 月 10 日	介護職員の為の接遇マナー	介護員	1
8 月 6 日	医療的ケア教員講習	看護師	1
8 月 8 日	介護職員の為の記録の書き方	介護員	1
10 月 30 日	地域密着型介護支援サービス事業者集団指導	事務員	1
11 月 18 日	介護の現場で学ぶ実践的セミナー(入浴)	介護員	1
11 月 28 日	施設における本人らしさに着目したケアプラン	施設長	1
11 月 23 日	先進地研修「第 14 回在宅医療フォーラム」	施設長	1
12 月 5 日 12 月 12 日	歯科保健医療サービス提供困難者への素化保険医療推進研修会	介護員	1
12 月 8 日	介護職技能実習指導員講習会	介護員	1
1 月 9 日	平成 30 年度認知症介護基礎研修	介護員	1
1 月 11 日	介護施設リスクマネジメント	サービスマネージャー	1
		生活相談員	1
		介護員	1
2 月 25～26 日	平成 30 年度生活相談員研修会	生活相談員	1

9. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
生活・行事	毎月の行事を通して利用者に季節を感じていただき、施設での生活を楽しんでいただく。また地域行事に参加し、地域と交流を持つ。	4 月 お花見 5 月 開設記念行事 6 月 ハーブフェスティバル 7 月 七夕飾り、ひばり安らぎ会 8 月 納涼祭 9 月 敬老会・おはぎ作り 10 月 秋の味覚(秋刀魚) 11 月 文化祭 12 月 クリスマス会、もちつき大会 1 月 正月飾り、もちばら作り 2 月 豆まき 3 月 雛人形飾り、ぼたもち作り	・行事計画書の作成が遅れてしまうことがあった。 ・感染次期の行事は、控える。(施設長と相談)
感染対策	① 職場における職員と利用者の安全を感染から守る為に内外の感染情報を収集し、感染の危険性、及び発生に対応します	感染予防の啓発活動、 感染予防の実践活動 ・職員、利用者の健康診断 ・職員、利用者のインフルエンザ予防接種実施 ・ラウンドの実施 ・トピックスの配布	今年度は、インフルエンザ感染利用者 11 名、職員 4 名が発症しました。もう少し早めに面会制限を行うべきであった。 来年度に向け職員の危機感を高めたい。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
処遇改善・学 習	毎月の勉強会の打ち合わせ、毎月の目標を決め業務に取り組んでもらうようにする。入居者、職員にとっても互い働きやすい環境を創っていくよう業務改善を行っていく。	4 月 提出物の書き方について 5 月 嚥下体操について 6 月 食中毒について 7 月 脱水について 8 月 痰吸引について 9 月 看取りについて 10 月 インフルエンザについて 11 月 認知症について 12 月 研修報告会 1 月 事例研究発表予演会 2 月 集団感染の対策について 3 月 危険予知訓練	・業務改善についてまだまだ決まらないことが多く、順調にいけなかったのので来年度は上手くいくように努力していく。
事故対策	介護事故を防止し、適切な質の高い安心・安全なサービスを提供する体制を確立する。 入居者様の尊厳を守り、自立した生活が送れるように各専門職の知識、技術を高め質の高いケアを目指す。	ヒヤリ・はっと件数 4 月 180 件 5 月 213 件 6 月 146 件 7 月 173 件 8 月 144 件 9 月 128 件 10 月 161 件 11 月 148 件 12 月 111 件 1 月 68 件 2 月 79 件 3 月 56 件 総数 1607 件 事故報告件数 18 件 入院事故件数 4 件	・検証シートや事故報告書の提出が遅れてしまうことがあったので、期限内に提出するよう声掛けする。 ・ヒヤリハットの提出が少なくなってきたので書くように声掛けする。 ・転倒の事故が多発したので、職員全員が転倒に関する認識や利用者様個々の対応・対策をするよう声掛けおこなう。
防災・設備	② 防災規程改正 ③ 防火管理組織・自衛消防隊の編成及び活動 ④ 施設及び防災設備の点検・改善 ⑤ 入居者及び職員に対する防災教育・訓練 ⑥ 災害時の非常食の備蓄・管理 その他、防災関連事項の調査	4 月 自主点検、連絡網更新 5 月 伝達訓練 6 月 AED講習 7 月 自主点検 8 月 伝達訓練 9 月 総合防災訓練 10 月 自主点検 11 月 夜間呼集訓練 12 月 除雪機使用方法、雪かきについての説明、伝達訓練 1 月 雪かき、自主点検 2 月 雪かき、防災備品チェック 3 月 引き継ぎ及び書類整理	・伝達訓練の回数をもう少し増やした方が良かった。 ・BCPに関する知識を職員にひろめる。 ・災害時に必要な物品を揃えていく。 ・総合防災訓練に地域の方々が参加されよかった。 ・毎月一度は排煙窓の点検をすることで防災意識が少し高まった。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
嚥下・摂食	食事を楽しく口から美味しく安全に召し上がって頂く為に、姿勢・道具・食事形態・咀嚼・嚥下機能までの一連の動作を検討する。	・ユニットで口腔内や食事形態、嚥下機能が心配な人をリストアップ ・毎食後の口腔ケアの徹底 ・口腔内の観察 ・口腔ケア用品を清潔に保つよう取り換えの声掛け ・歯科医、歯科衛生士往診時の同行及び経過観察と報告	嚥下体操の実施ができていないので、定着できるような工夫が必要。口腔ケアの知識・技術の向上に口腔指導の機会を活かせるようにする。 各入居者様のケアのポイントをユニット職員が把握し出来る事の継続をしていきたい。
看取り	なでしこで最期を迎えたいという希望にこたえ、本人・家族の思いを尊重したケアを行うため、看取り介護とは何か基本から確認していく	・なでしこ看取り介護指針の見直し(看取りとは何かを考える) ・終末期・看取り介護について考える(環境整備、清潔、栄養・食事、排せつ、疼痛緩和、精神的支援) ・終末期・看取り介護についての勉強会、全体への周知を目的として ・家族への心理的支援について ・施設で看取る場合の事前確認書の内容確認 ・インフォームドコンセントまでの流れの確認 ・終末期・看取り期の介護の流れ ・急変時の対応についての確認	・看取り期となった場合の対応が不十分のため、介護職員のスキルアップが必要。そのため、看取り期になった利用者に対し、介護方法についての用紙を作成し、職員へ実施の依頼を行った。今後も、看取り期となった利用者に対しては、個別的にマニュアルを作成し、ユニットへ配布していく。

特別養護老人ホーム・ケアハウスすずらん 事業報告

1. 利用者の状況

平成 31 年 3 月現在

●特別養護老人ホーム(入所)すずらん

介護度	1	2	3	4	5	合計	平均	入所待機状況(人)
御殿場市	2	5	31	31	17	86	3.6	50
小山町	2	1	11	15	7	36	3.7	10
裾野市	0	1	1	1	1	4	3.5	0
その他	0	0	5	10	9	24	4.2	11
合計	4	7	48	57	34	150	3.8	71

●短期入所生活介護(ショートステイ)すずらん

介護度	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	2	3	13	15	16	14	6	69	2.5

●通所介護(デイサービス)すずらん

介 護 度	支援 1	支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	6	4	27	12	7	7	3	66	1.7

●ケアハウスすずらん(特定入所)

介 護 度	支援 1	支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均
御殿場市	6	1	21	6	4	2	0	40	1.4
小 山 町	2	1	6	0	1	2	0	12	1.3
裾 野 市	1	2	1	1	2	0	0	7	1.1
そ の 他	1	4	7	3	0	0	2	17	1.3
合 計	10	8	35	10	7	4	2	76	1.1

●ケアハウスすずらん(一般入所)

入所者数	
御殿場市	13
小 山 町	3
そ の 他	4
合 計	20

2. 利用者・家族との連携

面会の機会などを通じて、利用者・入居者様本人はもとより、そのご家族様に施設へのご理解をいただき、また、素直なご意見をいただくため、日頃より家族とのコミュニケーションを図るよう努めた。

面会の状況 (月)	特別養護老人ホームすずらん		ケアハウスすずらん	
	月延べ件数	1日平均件数	月延べ件数	1日平均件数
4	396	13	164	5
5	521	17	188	6
6	326	11	162	5
7	341	11	155	5
8	462	15	188	6
9	401	13	162	5
10	363	12	174	6
11	311	10	156	5
12	463	15	231	7
1	384	12	174	6
2	266	9	212	7
3	394	13	198	6
平均	386	13	180	6

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域住民との交流を図るため、地域交流センターを使用して、交流会を開催したり、また納涼祭やコンサートでは、地区住民に対して広くご参加を呼びかた。加えて、多くの地域住民の方にすずらん温泉を利用していただいた。

●地域交流センター利用状況

催 し 事	月	内 容
	5	台湾施設見学
	6	ロッキーイワタ訪問販売 牧之原民生委員施設見学
	7	善行会パークゴルフ
	8	田代あつこピアノ発表会 歌謡コンサート
	10	二胡演奏会 チェロ演奏会
	11	ロッキーイワタ訪問販売 箱根フラダンス発表会 厚木民生委員施設見学
	12	クリスマスコンサート 餅つき大会
	3	田代ピアノ発表会 歌謡コンサート

●すずらん温泉 露天・内風呂利用状況

月	男性延べ人数	女性延べ人数	合計	月	男性延べ人数	女性延べ人数	合計
4	98	88	186	10	91	96	187
5	86	89	175	11	82	71	153
6	88	71	159	12	32	45	77
7	82	72	154	1	42	53	95
8	124	99	223	2	68	76	144
9	112	81	193	3	78	92	170
				合計	983	933	1,916

4. 情報公開の取り組み

玄関入り口付近の棚に、重要事項説明書、事業報告書、決算書、事業計画書、予算書のファイルを設置し、利用者・入居者様、ご家族様、来館者が常時閲覧できるようにしている。

5. 苦情解決の取り組み

苦情受付担当者、生活相談員、その他の関係職員と連携を取り、苦情受付・対応・記録・解決を迅速に行えるようにした。その結果、年間を通じて15件の苦情を受け付けたが、全て解決に至った。また玄関入り口付近にご意見箱を設置し、利用者様およびそのご家族様から、施設の運営に関わるご意見をいただけるよう努めたが、苦情に至るご意見は見られなかった。

6. 主な年間行事

本年度は、利用者様に積極的にアプローチし体力向上と外出レクの向上に努めた。また職員においても積極的に行事に参加した。

月	行 事 内 容
4	花見（富士霊園、時之栖他）・いちご狩り
5	新茶を味わう会
7	納涼祭
9	開設記念 ・ すずらん大運動会 ・ 敬老会
11	さんま焼き大会 ・ 足湯マッサージ
12	クリスマス会・もちつき大会
1	甘酒をふるまう会

7. クラブ活動の状況

クラブ活動指導員(ボランティア)と提携し、定期的な活動を行った。

内 容	指導員数	年間回数	延べ参加人数
カ ラ オ ケ	1	25	567
カラオケ体操	2	29	1,015
映 画 鑑 賞		38	608
書 道 教 室	1	39	936
大 正 琴	10	4	128
詩 吟 教 室	1	12	228
絵手紙教室	1	18	288
手 芸 教 室	1	32	192

8. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：施設長、事務長、介護長代理、各リーダー

開催日	主 な 議 題
4 月 16 日	・新年度リーダーに対し、ユニット職員紹介作成指示 ・ユニット内の整理整頓 ・預り金出金について
5 月 14 日	・勤務表作成注意点(公非祝の取り方) ・施設長変更に伴う施設目標について ・備品チェック
6 月 11 日	・納涼祭の日程について ・祝日の繰越について ・合同管理監督者会議について
7 月 9 日	・虎ノ門グループ主催の主任・リーダー研修について ・夏季休暇の取得について ・実地指導について
8 月 13 日	・利用者、入居者の健康診断実施について ・上期賞与ヒアリングについて ・実地指導報告

9月10日	・職員健康診断について ・施設見学者について
10月9日	・避難訓練実施内容について ・虎ノ門グループ主催の主任・リーダー研修について ・二胡演奏会の案内
11月12日	・忘年会の日程について ・空調設定温度について ・御殿場保健所立入検査実施について ・合同管理監督者会議について
12月10日	・新年顔合わせについて ・年末年始休暇日の取得について
1月15日	・次年度リーダー試験について ・事故多数の為注意喚起
2月12日	・新年度の予算案提出について ・下期賞与ヒアリング日程について
3月11日	・30年度への引継について ・預り金の年度末締めについて

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：施設長、介護長代理、各ユニット職員、看護師、機能訓練指導員、生活相談員、施設ケアマネジャー、管理栄養士

主な議題：利用者の介護支援、生活の質の向上などを目的に、他職種の意見を参考にしながら、更なるケアの充実に向けて会議を開催した。

9. 外部研修参加の状況

外部研修の内容については、全体会議や勉強会にて報告を行い、資料については回覧を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
5月10日	リスクマネジメント	介護員	1
6月 9日	発達をおさえた運動遊び	保育職員	1
6月12日	成年後見制度活用講座	相談員	2
7月27日	接遇マナー研修	介護員	3
8月10日	口腔ケア講習	介護員	1
8月20日	第10回静岡県高齢者福祉施設発表会	介護員・ケアマネ	7
8月30日	保育キャリアアップ研修	保育職員	1
10月 5日	介護力向上研修	介護員・ケアマネ	3
10月 7日	感染対策セミナー	看護師	1
10月20日	現場リーダー研修	介護員	2
11月 9日	床ずれ対策セミナー	介護員・機能訓練	3
11月 9日	承認マネジメント研修	介護員	2
12月 1日	介護技術研修のび体操	介護員	4
12月 6日	レクリエーション専門研修	介護員	1
12月15日	施設長研修	施設長	1
12月17日	福祉人材セミナー	介護員	1
2月19日	身体拘束廃止フォーラム	介護員・機能訓練	4

10. 委員会事業報告

毎月1回又は2回、各委員会メンバーにより委員会を開催し、委員会の運営に従事した。加えて抑制・事故対策委員会には施設長・介護長が毎回参加し、委員長と共に委員会の運営指揮に当たった。また他の委員会においても、委員長が必要性を認める場合は、施設長が委員会に参画した。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
教 育	職員1人1人の資質向上につながるよう毎月の勉強会、ユニット発表等を通じて積極的に働きかけていく。	・勉強会：毎月、各委員会や外部講師により業務に関わる内容で実施 ・12月にユニット発表会を開催 ・外部研修：計13件	・教育委員全体の活動への参加が少なかった。 ・勉強会でできなかった職員へDVDに収録し視聴 ・外部研修報告を勉強会時にしてもよかった。
行事計画	季節ごとの行事を計画し、入居者様、利用者様に楽しんで頂く	・各ユニットの行事をサポートし、ユニット内の楽しみとしてもらう。 ・すずらん新聞の発行	・納涼祭、敬老会、クリスマスなど施設での行事は例年通り実行できた。 ・甘酒を季節に応じて温め、冷たくして提供し楽しんで頂けた。 ・お花見、誕生日会、流しそうめんなどの各ユニットでのイベントを多く開催できるようにサポートしていく。
業務改善	すずらん全職員が業務改善に取り組みサービスの向上、能率の良い業務の実現により、すずらんの活性化を促進する。	業務改善提案の促進、評価、表彰を実施する。	・改善提案BOXを設置し、いつでも改善提案できるようにした。 ・些細なことでも気づきでも提案できるようにする。 ・良い提案に対してすぐ実行できる体制をつくる。
抑 制 ・ 事故対策	介護事故を防止し、安全でかつ適切に質の高い介護を提供する体制を確立する。また、安全な介護の提供により、利用者様との信頼関係を築き、紛争の防止に努める。KYT・スピーチロック教育。	・ヒヤリ・はっと、事故報告の集計とアセスメント ・勉強会年2回開催 ※スピーチロックについて ※KYTについて ・緊急の事故対策会議開催（ヒヤリはっと件数は別表）	・実地指導の私的に対する対策をする。 ・委員会活動に参加しない委員がいた。 ・事故が起こった原因追求、それに対する対策を立てているのか、その対策が効果的に行われているのか、継続して実施されているのか、また事故の分析等を行っていく必要がある。 ・ひやりはっとの提出が減少した。
嚥 下 ・ 褥 瘡	質の高い摂食・嚥下リハビリ、ケアサービスの提供と褥瘡形成ゼロ	・情報シート活用マニュアルを作成しユニットへ配布 ・褥瘡予防マット、エアマットの管理	・委員会参加率が低かった。 ・嚥下褥瘡経過観察者リストの更新が不十分であった。
安全衛生	労働安全法に基づき、職場における職員の安全と健康を	・安全衛生管理点検表による定期的点検（職場環境の向上）	・職員への腰痛予防に対して意識向上ができなかった。 ・メンタルヘルスの勉強会が延期にな

	保持し、快適な作業環境の形成を促進する。	・職員休憩場所周知 ・健康診断の実施 ・職員健康管理の取り組み ・腰痛予防 ・メンタルヘルス	ってしまった。
委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
感染対策	・施設内感染症予防の計画・立案 ・教育、研修必要な措置の実施	・勉強会（食中毒・インフルエンザ・ノロウイルス ・ポスター作成（食中毒・インフルエンザ・ノロウイルス） ・ユニット内物品チェック、手洗い指導 ・感染対策用品の管理 ・外部セミナーの参加	反省 ・地域での流行情報を施設内に情報を提供する。 ・インフルエンザの集団感染してしまった。 ・ノロウイルスが発症してしまった。 ・感染症の初期対応が遅れ拡大してしまった。 課題 ・感染症予防について職員全体の意識がまだ低いので高めていくようにしていきたい。 ・感染対策備品の整理
給食	①食事サービスの改善、内容の充実を図り、満足度の向上に繋げる。 ②経口からの栄養管理・口腔内環境の更なる改善・利用者様の身体状態（咀嚼機能・嚥下機能・堅強状態）にあわせた調理の工夫・口腔嚥下機能維持に関する活動を実施することで、利用者様がいつまでもおいしく楽しくお食事が出来るよう努める。	＜定例委員会にて＞ ・口腔ケア・摂食嚥下に関する勉強会実施 ・実施献立の反省・検討 ・ユニット調理メニュー考案・検討 ・誕生日献立メニュー考案・検討 ＜その他の活動＞ ・「すずらん食堂だより」の作成・発行（月1回）⇒挨拶文およびフリーテーマは担当制	・ユニット調理メニューの提案、厨房職員との連携しもっと多くのユニットでの開催をしていきたい。 ・冷凍食品が増えたため、解凍及び味付けに苦勞した。 ・刻み食、ペースト食、ミキサー食でも味がわかるよう工夫をする。
防災	・災害等に依る人的災害の予防と自然災害時（地震等）の救助および被害の軽減を図る。 ・主に日常生活のいろいろな場面を想定して訓練を行う。 ・防災用具等の使用方法と効果を確認する。	・平成29年4月～平成30年3月までリーダー会議時に開催 ① フジ虎ノ門グループとしてのBCPを作成 ② 防災訓練を月1回開催 ③ 避難器具説明（避難用マット）	＜反省点＞・呼集時の電話のほか、一斉メールでも実行したい。 ＜問題点＞・よりリアルな訓練の実施。 ・火災での誘導、避難の確認 ・地震での被害状況の確認方法の見直し

すずらん 事故対策・抑制禁止委員会 活動報告別表

●平成 30 度 ヒヤリ・はっと集計報告

場所 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
特 養	15	26	45	42	36	46	34	52	56	39	48	46	485
ケアハウス	14	32	41	26	32	29	27	35	41	31	33	26	367
ショート	5	8	14	12	19	16	11	16	14	10	8	4	137
デ イ	4	6	6	8	7	6	8	12	11	10	9	8	95
ユニット外	0	1	2	1	1	2	1	0	2	0	2	1	13
合 計	38	73	108	89	95	99	81	115	124	90	100	85	1,097

内容 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
転 倒	21	26	36	24	37	36	28	40	46	39	44	32	409
転 落	5	24	24	22	19	31	22	26	16	16	26	22	253
利用者間トラブル	3	8	12	6	4	4	2	3	6	2	6	5	61
離 設	0	4	10	9	12	6	8	12	16	12	10	4	103
異 食	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	5
暴言・暴力	5	8	10	14	9	1	6	9	8	11	6	6	93
不潔行為	4	0	5	2	8	6	6	6	12	3	3	10	65
誤 嚥	0	0	2	4	6	9	6	3	6	3	2	3	44
誤 薬	0	0	2	0	0	1	1	6	8	2	2	3	25
外 傷	0	0	1	2	0	5	2	9	4	1	0	0	24
熱 傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	0	1	6	6	0	0	0	1	1	0	0	0	15
時間帯\月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
7時～13時	14	18	32	24	19	25	23	19	32	26	22	26	280
13時～19時	4	8	22	19	12	16	16	26	18	31	14	11	197
19時～0時	12	25	30	26	34	28	22	24	22	15	32	13	283
0時～7時	6	18	18	17	29	25	19	40	49	16	25	30	292
不 明	2	4	6	3	1	5	1	6	3	2	7	5	45

●平成 30 年度 事故報告件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
報告件数	4	5	6	3	6	8	4	10	9	8	12	10	85

ケアハウスやまぼうし 事業報告

1. 利用者の状況

平成31年3月現在

介護度	自立	支援1	支援2	1	2	3	4	5	合計	平均	入居待機状況(人)
沼津市	4	7	8	12	4	1	0	1	37	1.0	2
裾野市	0	2	3	1	0	0	0	0	6	0.5	2
長泉町	0	0	1	1	1	0	0	0	3	1.1	0
御殿場市	0	0	0	1	1	0	0	0	2	1.5	0
三島市	0	0	0	1	1	0	0	0	2	1.5	0
その他	1	4	3	0	0	1	0	0	9	0.7	4
合計	5	13	15	16	7	2	0	1	59	1.1	8

2. 利用者・家族との連携

面会の状況

月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数	月	月延べ件数	1日平均件数
4	184	6	8	189	6	12	202	7
5	179	6	9	187	6	1	173	6
6	191	6	10	179	6	2	147	5
7	190	6	11	155	5	3	174	6
						平均	179.1	5.9

3. 主な年間行事

利用者の皆様楽しんでいただけるように様々な行事を計画し実施した。また、職員が行事運営に慣れるよう努めた。

月	行事内容
4	開設記念特別メニュー お花見(3日間) 23日ジーバーズ 27日レインボーハート
5	兜飾り 8日ハーモニカコンサート
6	4日、9日、11日ワックスがけ
7	10日レインボーハート 25日ジーバーズ
8	25日納涼祭
9	5~7日流しそうめん 14日敬老会(津軽三味線)・敬老会特別メニュー 19日レインボーハート
10	18日買い物レク
11	2・7日紅葉鑑賞・豚汁会
12	18日レインボーハート 24日クリスマス会
1	初詣(5日間) 14日餅つき
2	4日豆まき 19日ジーバーズ ひな人形飾り
3	4日ひな祭り特別メニュー イトーヨーカドー作品展(2日間)

4. クラブ活動の状況

クラブ活動指導員(ボランティア)と提携し定期的な活動を行い、利用者の皆様の気分転換を図った。

内 容	指導員数	年間回数	内 容	指導員数	年間回数
カラオケ		70	茶道教室	2	12
体操教室		54	車椅子ダンス	13	4
映画鑑賞		12	マンドリン	6	1
習 字		4	訪問販売	2	21
作品作り		20	移動図書館	2	10
買い物		12	外出レク		15
外食・宅配		2	音楽レク	2	1
傾聴	3	3	送迎のみ外出		12
ジーバーズ(演奏会)	8	2	南京玉すだれ&マジック	6	1
折り紙教室	1	1			

5. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域交流スペース利用状況

月	内 容
4	茶道教室 23 日ジーバーズ 27 日レインボーハート
5	カラオケ 体操教室等
6	茶道教室 映画鑑賞等
7	10 日レインボーハート 25 日ジーバーズ
8	25 日納涼祭
9	11 日折り紙教室 14 日敬老会(津軽三味線) 19 日レインボーハート
10	脳トレ めり絵 作品作り等
11	カラオケ 体操教室等
12	4 日利用者様健康診断 18 日レインボーハート
1	体操教室 作品作り等
2	4 日豆まき 19 日ジーバーズ
3	体操教室 作品作り等

6. 情報公開の取り組み

事務所受付カウンターに重要事項説明書の掲示を行い、利用者様、ご家族様が自由に閲覧出来るようにしている。

7. 苦情解決の取り組み

玄関前にご意見箱を設置 平成 30 年度ご意見箱投函・その他苦情件数 9 件

8. 会議開催の状況

●全体会議

開催時期：毎月最終月曜日

出席者：全職員

議事内容：施設長より報告、各ユニット・各委員会・各部署より報告、
その他施設内連絡事項伝達

●ユニット会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：各ユニット職員、生活相談員、介護支援専門員

議事内容：業務見直し、ユニット行事計画

●リーダー会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：施設長、生活相談員、介護支援専門員、看護師、機能訓練指導員、各リーダー

主な議題：各ユニットからの報告、職員の指導、入居者の処遇、勤務について
検討議案の決定

●サービス担当者的会議

開催時期：各ユニット月1回

出席者：施設長、相談員、介護支援専門員、看護師、機能訓練指導員、ユニット職員

主な議題：利用者様のケアプラン短期目標について

●各種委員会

開催時期：各委員会月1回

出席者：各委員会職員

議事内容：各委員会の年間計画、予定についての話し合い

●待機者判定会議

開催時期：毎月第2月曜日

出席者：施設長、相談員、介護支援専門員、看護師

●厨房会議

開催時期：毎月最終月曜日

出席者：厨房職員

議事内容：食事に関するヒヤリハットの見直し、メニュー・食材についての意見交換、
調理師会議の報告、その他確認事項

9. 外部研修参加の状況

月 日	内 容	職 種	人数
6 月 20 日	衛生・栄養管理講習会	栄養士	1
6 月 21 日	沼津市福祉施設連絡協議会 施設長会議	施設長	1
6 月 21 日	沼津市介護予防日常生活支援総合事業研修会	機能訓練士	1
6 月 22 日	認知症研修	機能訓練士	1
6 月 27 日	業務用食品成長戦略展示商談会	栄養士	1
7 月 13 日	静岡県老人福祉施設協議会軽費委員会視察	施設長	1
7 月 17 日	接遇マナー研修	事務員	1
7 月 27 日	認知症研修	機能訓練士	1
8 月 1 日	看護の質向上促進研修	看護師	1
8 月 2 日	支え合いの地域づくりフォーラム	機能訓練士	1
8 月 20 日	静岡県高齢者福祉研究大会	施設長・相談員・ 介護支援専門員・ 介護員・機能訓練 士・事務員	7
8 月 24 日	金岡地区認知症研修会	機能訓練士	1
9 月 2 日	静岡県老施協東部支部 総合防災訓練視察	施設長・介護員	2
10 月 11 日	かなおか地域つながる会議	機能訓練士	1
10 月 2 日	社会福祉施設における感染症予防対策	介護員	1
10 月 12 日	医療分野から見える救護と防災	介護員	2
11 月 1 日	社会福祉施設等を対象とした感染症・食中毒予防 対策講座	介護員	1
11 月 9 日	人材育成研修会 承認マネジメント	看護師	1
11 月 14 日	健康づくり研修会「健康長寿のカギは口にある」	栄養士・調理師	2
11 月 15 日	社会福祉施設等職員防災研修会	施設長・介護員	2
12 月 15 日	介護者のためのがん患者ケア研修	介護員	1
12 月 20 日	アンガーマネジメントの基礎知識	調理師・事務員	2
2 月 4・5 日	静岡県老施協東部支部総会並びに施設長・職員 研修会	施設長	1
2 月 7 日	福祉職員のための成年後見制度理解促進研修	相談員	1
2 月 13 日	介護職のための医学の基礎知識	介護員	1
2 月 19 日	身体拘束廃止フォーラム	介護支援専門員	1
2 月 27 日	介護職員の職場定着推進研修	相談員・介護員	3
3 月 9 日	介護者のためのがん患者ケア研修 第 2 回	介護員	1
3 月 12 日	給食施設栄養士研修会	栄養士	1

10. フジ虎ノ門グループ内研修参加の状況

月 日	内 容	職 種	人数
7 月 19 日	苦情・クレーム対応研修	施設長・リーダー	4
10 月 18 日	リーダー接遇研修会	施設長・相談員・リーダー・ 機能訓練士	6

11. 委員会事業報告

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
感染・衛生 対 策	・施設内感染予防の計画、立案。 ・職員の業務上必要な知識・技術の向上を図る。 ・過ごしやすい環境で健全な生活を送ることが出来るよう努める。	・月 1 回委員会開催 ・週 1 回冷蔵庫チェック ・ユニット内清掃チェック、改善 ・食中毒、手洗いの勉強会実施 ・災害時応急処置、感染対策勉強会実施 ・ノロウイルス、インフルエンザの勉強会実施 ・利用者様、職員の健康診断とインフルエンザ予防接種管理 ・感染症、食中毒予防対策講座参加 ・ユニット内清掃方法の統一 ・ユニット内リビングカーテンの洗濯依頼	・利用者様 1 名、職員 2 名がインフルエンザ A 型に罹患したが、利用者様と職員の協力体制があり、蔓延を防ぐことが出来た。 ・来年度は環境整備とユニット内清掃チェックを強化していく。
リスクマネ ージメント	・リスクを予測して事故を回避出来るよう努める。 ・事故発生後の集計をもとに施設全体での分析、対策、評価を行い、再発防止に努める。	・月 1 回委員会開催 ・ヒヤリハット、アクシデントを集計して可視化し、報告一覧内容を各ユニットに配布する。 ・毎月リスクに関する月間目標を立て、職員の意識向上を図る。 ・緊急マニュアルの見直し ・ヒヤリハットの書式見直し ・事故発生時に事故対策会議の開催、県や保険者への報告 ・危険予知トレーニングの実施	・転倒、転落、放尿に関しては同じ利用者様の報告が多かった。 ・よべー（携帯型呼び出し専用アラーム）を使用し、事故を未然に防ぐ努力をした。 ・見当識障害の方のトイレ移動に関し、掲示したりテープで目印を作成するなどして工夫した。 ・ヒヤリハット報告書の提出件数が少ない。大きな事故を防止するため提出件数を増やすことを今後の課題とする。
業 務 改 善 ・ 教 育	・職員の業務上必要な知識・技術向上のため、勉強会を行う。 ・職員のスキルアップを目指し、外部研修会への参加を促す。	・月 1 回委員会、勉強会開催 4 月 やまぼうし新聞発行 5 月 低栄養について 6 月 災害時応急処置 7 月 BCP計画について 8・9 月 虐待防止について	・外部研修への参加を呼びかけることにより、前年と比べ 3 倍以上の研修に参加することが出来た。 - また、施設内で発表も行い、職員に還元することも出来た。 ・顧客満足度アンケートを実施し

	委員は進んで参加する。 ・業務改善に積極的に取り組み、利用者様の生活の向上を図る。 ・利用者様の日常の様子を新聞にして伝える。	やまぼうし新聞発行 10・11月 ノロ・インフルエンザ 12・1月 事故防止 やまぼうし新聞発行 2・3月 防災備蓄品取扱い やまぼうし新聞発行	利用者様、ご家族様の声を聞くことで、要望や今後の課題を把握することが出来た。 ・勉強会がマンネリ化し参加人数が減ってきている。 勉強会の内容を見直し、参加人数を増やすことを今後の課題とする。
防 災	「施設職員及び利用者様に対して防災意識を高め、防災訓練を実施し、生命の安全と施設の保全に努める」を目的として防災活動等に取り組む。	・月1回委員会開催 4月 前年度活動内容の確認 6月 防災訓練(発電機、火災報知設備の説明) 7月 BCP計画の勉強会 8月 非常食の試食 9月 防災訓練(スプリンクラーの止め方、消火栓の使い方) 10月 非常階段の点検、清掃 11月 避難経路の確認 12月 防災備品の確認 1月 防災訓練(消火器の使い方) 2・3月 防災備蓄品についての勉強会	・災害時に備え、様々な防災訓練を行うことができ、職員に学んでもらうことが出来た。しかし訓練に参加出来なかった職員もあり、その職員には資料を配布し把握してもらうことしか出来なかった。 来年度はより多くの職員が防災訓練に参加出来るよう工夫する。 ・BCPについての勉強会を行うことが出来たが、BCPに関しての活動が少なかったため、来年度はより多く活動していく。 ・防災備蓄品の確認がこまめに行えなかったため、来年度はこまめに確認していく。 施設内にある防災備蓄品を用紙にまとめ、職員に把握してもらう。
行事・給食	・様々な行事やレクリエーションをボランティアの皆様の協力を得て行い、利用者様に季節感や喜楽を感じて頂く。 ・より良く美味しい食事を提供出来るように利用者様からの意見を取り入れていく。	・月1回委員会開催(8月までは月2回実施) ・毎月のレク行事予定表検討、作成 4月 開設記念(特別メニュー) 8月 納涼祭 9月 敬老会 流しそうめん 11月 豚汁会+紅葉鑑賞 12月 クリスマス会(昼食バイキング) 1月 初詣 餅つき 2月 豆まき 3月 ひな祭り、作品展参加 ・ボランティア管理(音楽会、民謡音楽、茶道、車椅子ダンス等) ・兜、クリスマスツリー、雛人形の準備・片付け、行事食提供 ・新しい行事を随時検討し実施	・新しい行事を行い利用者様に楽しみを提供出来、好評を得た。 ・来年度は施設全体で行事を行っていけるよう工夫していきたい。 ・来年度は行事食やおやつレクの他、新しいレクリエーションを行っていけるように検討していく。

社会福祉法人博友会指定地域密着型通所介護事業所・

社会福祉法人博友会指定居宅介護支援事業所 事業報告

1. 利用者の状況

平成 31 年 3 月現在

●地域密着型通所介護・介護予防通所介護（山中湖ダイ）

介 護 度	事業 対象者	支援 1	支援 2	1	2	3	4	5	合計	平均
山中地区	1	0	0	10	1	2	0	2	16	1.6
平野地区	0	0	0	8	2	2	3	1	16	2.1
旭日丘地区	0	0	1	0	0	0	0	0	1	-0.1
合 計	1	0	1	18	3	4	3	3	33	1.8

●居宅介護支援（山中湖居宅）

介 護 度	1	2	3	4	5	合計	平均
登録人数	9	4	2	0	1	16	1.8

2. 利用者・家族との連携

日頃から送迎時等で家族との会話を積極的に行い、家族の意見を聞いたり、利用者の日々の様子を連絡帳等で情報を共有して、家族との距離を縮め、より親しみある施設の構築に努めた。

3. 地域との交流・施設開放の取り組み

地域住民との交流を図るため、地元中学生職場体験やボランティア等を積極的に受け入れている。近隣保育所や小中学校、地元住民に対して、広く慰問していただくよう呼びかけた。又、身障者家族の為にデイスサービス営業時間外に山中湖平野温泉石割の湯すこやか風呂（身障者用家族風呂）として開放し利用していただいた。

月	行 事 内 容
4	13 日/ボランティア交流 コール富士マリモ様（コーラス）
	18 日/ボランティア交流 長田様（ネイル）
	28 日/ボランティア交流 ひまわりの会高村様（三味線）
5	28 日/ボランティア交流 長田様（ネイル）
6	15 日/ボランティア交流 コール富士マリモ様（コーラス）
	30 日/ボランティア交流 ひまわりの会様（歌・三味線・琴）
7	6 日/平野保育所お泊り保育入浴協力
	7 日/ボランティア交流 原様（将棋）
	10 日/ボランティア交流 長田様（ネイル）

8	21 日/平野保育所とのふれあい交流会（夏まつり）
9	14 日/ボランティア交流 コール富士マリモ様（コーラス）
10	26 日/ボランティア交流 長田様（ネイル）
11	9 日/ボランティア交流 コール富士マリモ様（コーラス）
12	14 日/ボランティア交流 リフォームすずらんの会様（傾聴） 21 日/ボランティア交流 ひまわりの会様（歌・三味線・琴）
1	4 日/ボランティア交流 高校生ボランティア田村様（傾聴） 9 日/ボランティア交流 山中婦人会舞踊部様（日本舞踊）
2	6 日/ボランティア交流 すみれの会様（大正琴） 12 日/ボランティア交流 長田様（ネイル）
3	1 日/地域施設見学 ひな祭り（雛人形見学・甘酒）

4. 情報公開の取り組み

玄関入り口に運営規程、重要事項説明書等の掲示を行っている。

5. 苦情解決の取り組み

苦情受付担当者、生活相談員、その他の関係職員と連携を取り、苦情受付・対応・記録・解決を迅速に行えるようにした。

6. 主な年間行事（ボランティア交流は地域との交流と重複するため除外）

月	行 事 内 容
4	9.10 日/お花見（富士霊園）
5	1 日/チューリップ散策（花の都公園） 18 日/ツツジ散策（利用者宅庭園）
6	7 日/第 1 回避難訓練（火災訓練） 15 日/山中湖村行政視察 23 日/手作りおやつ作り フルーツ白玉
7	6 日/平野保育所お泊り保育入浴協力
8	21 日/平野保育所とのふれあい交流会（夏まつり）
9	3 日/いきいき健康課個別検討会 17 日/敬老の日（お楽しみ昼食・カラオケ大会）
10	11 日/臨時休業 高圧引込ケーブル交換工事 20 日/秋の味覚を楽しむメニュー 25 日/第 1 回運営推進会議 4 月～9 月事業活動報告
11	1～5 日/山中湖村文化祭 利用者作品出展 12 日/第 2 回避難訓練（地震訓練） 27.30 日/紅葉ドライブ（山中湖畔）

12	19.20 日/クリスマス会 19～22 日/ゆず風呂 22 日/冬至 かぼちゃ料理
1	14 日/だんごばら作り
2	3 日/節分 豆まき 2.4 日/臨時休業 浴室 24 時間換気等修繕工事 28 日/石割の湯施設見学（雛人形展示）
3	1 日/地域施設見学 ひな祭り（雛人形見学・甘酒）

7. 会議開催の状況

●全体会議

開催時期：毎月 1 回

出席者：全職員

議事内容：事業計画、事業報告、事務連絡、グループ内連絡事項確認

●ケース検討会

開催時期：毎月 1 回

出席者：デイ管理者、生活相談員、看護師、介護職員、居宅管理者、介護支援専門員

議事内容：ケースカンファレンス、業務見直し、行事計画

●運営推進会議

出席者：山中湖村いきいき健康課介護保険担当、地域包括支援センター保健師、社会福祉士、民生委員、ご家族様、第三者委員、なでしこ施設長、デイ管理者、生活相談員、居宅管理者

開催日	内 容	人数
9 月 28 日	H29 年 4 月～8 月事業活動報告について	10
3 月 8 日	H29 年 9 月～H30 年 2 月事業活動報告について	11

8. 外部研修参加の状況

月 日	内 容	職 種	人数
4 月 27 日	介護認定調査員新規研修会	居宅管理者	1
6 月 12 日	第 1 回富士北麓地域介護支援専門員研修会	居宅管理者 介護支援専門員	2
6 月 21.22 日	平成 30 年度甲種防火管理新規講習会	デイ管理者	1
6 月 27 日	平成 30 年度認知症介護実践研修①	デイ介護職員	1
7 月 10 日	平成 30 年度認知症介護実践研修②	デイ介護職員	1
7 月 18 日	訪問看護を利用するには	居宅管理者	1

7月19日	山中湖村高齢者等見守りネットワーク事業意見交換会	居宅管理者	1
7月25日	平成30年度認知症介護実践研修③	デイ介護職員	1
8月1日	平成30年度認知症介護実践研修④	デイ介護職員	1
8月6日	平成30年度給食施設従事者研修会	デイ調理員	1
8月21日	第2回富士北麓地域介護支援専門員研修会	居宅管理者	1
8月23日	平成30年度認知症介護実践研修⑤	デイ介護職員	1
8月30日	平成30年度認知症介護実践研修他施設実習⑥	デイ介護職員	1
10月30日	介護サービス事業者集団指導	デイ管理者 居宅管理者	2
11月22日	平成30年度認知症介護実践研修⑦	デイ介護職員	1
12月10日	第4回富士北麓地域介護支援専門員研修会	居宅管理者	1
2月13日	第5回富士北麓地域介護支援専門員研修会	居宅管理者	1

9. 内部研修参加の状況

月 日	内 容	職 種	人数
7月19日	虎ノ門グループ リーダー・主任教育①	デイ管理者	1
10月18日	虎ノ門グループ リーダー・主任教育②	デイ管理者	1
2月24日	虎ノ門グループ リーダー・主任教育③	デイ管理者	1

10. 勉強会参加の状況

月 日	内 容	職 種	人数
5月16日	ノロウイルスについて 熱中症について(山中湖デイ)	デイ管理者、生活相談員、 介護職員、看護職員、調理員、 作業療法士、居宅管理者	9
9月12日	こころのケアを考える(山中湖デイ)	デイ管理者、生活相談員、 介護職員、作業療法士、 居宅管理者	5
10月9日	通所介護計画の作り方について (山中湖デイ)	デイ管理者、生活相談員、 介護職員、看護職員、居宅管理者	7
11月12日	集団体操について 個別の介入について(山中湖デイ)	デイ管理者、生活相談員、 介護職員、看護職員、作業療法士	6

11. 委員会事業報告

山中湖デイでは3年目となり委員会活動も活発になった。毎月1回全体会議・各委員会を開催し、職員全員で運営の充実を図った。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
行 事 計 画	博友会の理念のもと“長生きしてよかった”のお手伝いとして利用者様がより良い生活を送れるよう季節にあった行事・風習を生活に取り入れて、ストレス解消とリフレッシュを図っていただく。	4月 春のお花見ドライブ 5月 端午の節句(菖蒲湯) 6月 手作りおやつ(草餅) 7月 七夕まつり 8月 夏まつり(平野保育所とのふれあい交流会) 9月 敬老の日(敬老会) 10月 秋の紅葉ドライブ 秋の味覚を楽しむ会 11月 山中湖村文化祭(見学出展) 12月 クリスマス会、冬至週間 (ゆず湯・かぼちゃ料理) 1月 正月(福笑い・書初め) 小正月(まゆ玉作り) 2月 節分(豆まき) 3月 ひな祭り(甘酒・ひなあられ)	・4月お花見ドライブは、毎年恒例の富士霊園へ行き満開の桜を満喫した。 ・8月夏まつりは利用者様も園児も楽しい1日を過ごされた。民生委員さんも多く来所し盛大にできた。 ・9月敬老の日はお楽しみメニューの昼食、カラオケ大会をして手作りプレゼントも頂き楽しく過ごせた。 ・12月クリスマス会はビンゴ大会をし、楽しい時間を過ごした。 ・“長生きしてよかった”のお手伝いとして利用者様がより良い生活を送れるよう今後もいろいろ企画していく。
衛 生 管 理	利用者様の安全安心を確保するための感染予防計画の作成と、職員への教育・指導を行い感染の予防・防止に努める。	・感染予防の啓発活動や感染予防の実践活動を行った。 ・職員の健康診断実施 ・うがい手洗いの実施 ・清掃方法、吐物処理、食器類の対処について実践学習 ・季節性感染症の勉強会実施 毎日 調理施設・調理器具及び使用水・調理等における点検 毎日 レジオネラ症防止対策自主点検 随時 ろ過装置・薬注装置点検 年2回 水質検査(レジオネラ属菌) 年2回 害虫駆除・グリストラップ清掃 年1回 風呂循環配管薬品洗浄	・感染症が拡大することがなかった。感染症に対する知識を職員へ周知徹底していく。 ・うがい、手洗いの意識を高めるため、声掛けをたえず行っていく。 ・熱中症について勉強会を行った。 ・清掃方法について職員みんなで協議し衛生管理に努めた。 ・調理室等の衛生管理には特に日々注意し点検を行った。 ・レジオネラ症防止対策に取り組み水質保持を心がける。 ・職員の健康維持にもみんなで取り組んでいく。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
事 故 対 策	利用者様一人ひとりの生活歴」を重視し、穏やかに安心して生活出来る様、質の高い介護を確立する。	・ヒヤリはっとの集計、事故対策会議での対策検討、事故防止の呼びかけ。事故1件 ・デイサービスの荒天時(台風や大雪等)の営業及び送迎時の事故防止を目的にリスク管理について村と協議しました。 ・ヒヤリはっとな件数 4月0件 5月1件 6月7件 7月1件 8月2件 9月2件 10月4件 11月1件 12月3件 1月0件 2月3件 3月3件 総数 27件 ・苦情件数 0件 ・相談件数 0件 ・事故件数 8件	・ヒヤリはっとなについては十分理解されているが、事故防止の対策とスピーチロックについても積極的に今後も引き続き取り組んでいく。 ・今年度は大雪も少なく冬期の営業はスムーズに行えた。 ・甲府地方気象台が発令する警報・注意報に基づき、デイサービスの荒天時の営業及び送迎時の事故防止について、その都度、村担当課長とデイ管理者および施設長が協議し決定しました。
防 災	地震・火災等にスムーズな対応ができるように職員に継続的に教育を行っていく。	毎日 自主点検 随時 火気使用設備管理点検 4月 緊急時持出ファイル作成 6/7 第1回避難訓練(火災) 防災備蓄品整備 6/14 消防用設備等・特殊消防用設備等自主点検(石割の湯合同) 11/12 第2回避難訓練(地震) 12/13 消防用設備等・特殊消防用設備等自主点検(石割の湯合同)	・防火管理者を中心に委員会として日々自主点検を行った。 ・避難訓練は、年2回、利用者様も参加して実際に近い形で訓練ができた。 ・隣接する石割の湯(山中湖観光振興公社)と合同で消防用設備等自主点検ができた。
施 設 等 維 持 管 理	施設・整備管理の専属営繕職員が不在ではあるが、日常点検・定期点検を行い施設の良好な状態を維持できるように努める。	毎日 車輛始動自主点検 毎日 浴室リフター自主点検 随時 車輛整備・清掃点検 随時 施設環境美化 随時 施設修繕点検・備品管理点検 1/8 浴室リフター点検	・山中湖村借用福祉車輛4台の日常点検及び定期点検を行った。 ・送迎時の車輛運転について職員一同注意するように周知した。 ・施設修繕については、山中湖村で予算計画に基づき今年度は浴室24時間換気等修繕して頂いた。 ・浴室リフターの故障時について村と協議し来年度以降も引き続き検討していく。

菜の花こども園 事業報告

1. 利用状況

入所児童数：定員 90 名

月	乳児	1・2歳児	3歳児	4歳児以上	合計
4	4	30	20	35	89
5	5	30	20	35	90
6	5	30	20	36	91
7	5	30	20	36	91
8	8	30	20	37	95
9	9	33	20	34	96
10	8	33	20	34	95
11	9	33	20	34	96
12	9	33	20	34	96
1	9	33	20	34	96
2	9	33	20	34	96
3	9	33	20	34	96
合計	89	381	240	417	1,127

業 名	延べ利用人数
一時預かり保育	767
延長保育	1,072
休日保育	396
病後児保育	127

2. 主な年間行事

月	内 容
4	2日 入園式 12日 じゃがいも植え 18日 お楽しみ会 27日 IFC 任命式
5	14日 消防署見学 16日 さつま芋の苗さし 17日 春の親子遠足（日本平動物園）
6	4日 お抹茶教室 15日 花火教室 20日 保育参観、プレキッチン 25日 交通安全教室 28日 足柄幼稚園との交流会 29日 日本茶教室
7	2日 プール開き 6日 七夕の集い 21日 菜の花まつり
8	26日 足柄地区体育大会
9	3日 総合防災訓練 11日 菜の花の丘敬老会参加 29日 運動会
10	2日 お抹茶教室 8日 町民体育大会 10日 秋の遠足 16日 さつま芋掘り 17日 焼き芋会 18日 トヨタセーフティ 23日 観劇（マイム）24日 交通安全 パレード 26日 レッツゴーキッチン 29日 お抹茶教室 31日 ハロウィン
11	3日・4日 足柄地区文化祭
12	1日 発表会 5日 花育教室 7日 交通安全教室 18日 クリスマスパーティ 19日 菜の花の丘クリスマス会
1	8日 おめでとうの集い 29日 足柄スマート IC プレイベント
2	1日 節分集会 2日 創年の集い 8日 IFC 修了式 13日 保育参観、保護者総会 21日 お抹茶教室 22日 卒園遠足 26日 レストランごっこ
3	1日 雛祭りの集い 13日 お別れ会 16日 卒園式

3. 会議開催の状況

●代表者会議

毎月1回、適宜必要時

出席者：園長、主任保育士、各クラス代表保育士

開催日	主 な 議 題
4月5日	・駐車場について ・保護者対応について ・睦会について
4月11日	・ヒヤリハット報告確認 ・保護者対応について
6月29日	・ICT化について
7月4日	・行政からの連絡確認 ・菜の花まつりについて ・グループ内研修について ・臨床心理士との連携について
8月1日	・菜の花まつり反省
9月3日	・処遇改善手当について・防災訓練反省・運動会、秋の遠足についての検討
1月21日	・ICT化について（運用の流れ）
2月4日	・入園説明会について ・31年度人事計画について

●リーダー会議

毎月1回、適宜必要時

出席者：主任保育士、副主任保育士、専門リーダー保育士

開催日	主 な 議 題
11月7日	・個別支援計画について ・苦情、要望（園児服装）対応について ・リスクマネジメントについて
12月7日	・苦情、要望対応（ジャージ導入）リスクマネジメントについて・ICT化
1月9日	・苦情、要望対応（アンケート結果）リスクマネジメントについて ・小山高校生との交流について
2月13日	・苦情、要望対応 ・リスクマネジメントについて・ICT化について ・新年度にむけて ・第三者評価について
3月13日	・苦情、要望対応・リスクマネジメントについて・年間行事確認

●職員全体会議

毎月1回

出席者：全職員

開催日	主 な 議 題
4月2日	・入園式について・保育、教育理念の確認 ・人事評価について・行事予定
4月17日	・行事予定、内容、確認・各クラスより報告・ヒヤリハットとリスクマネジメントについて
5月15日	・行事予定、内容、確認 ・各クラスより報告・実習生について ・春の遠足について・処遇改善手当について
6月19日	・各クラスより報告、連絡、確認 ・花火教室について ・菜の花まつりについて・保護者作業について・キャリアアップ研修計画
7月17日	・栄養課より報告、連絡 ・各クラスより報告、連絡 ・リスクマネジメントについて・発達支援児の対応・グループ内研修について

8月22日	・行事の確認 ・各クラスより報告、連絡 ・リスクマネジメントについて
9月19日	・行事の確認 ・栄養課より連絡事項 ・各クラスより報告、連絡、確認 ・小山町の行事参加について・ICT化に向けて・グループ内研修について
10月16日	・行事の確認 ・各クラスより報告、連絡 ・栄養課、看護師より連絡事項 ・発表会について・発達支援児の対応・足柄地区行事について・委員会報告
11月20日	・行事の確認 ・各クラスより報告、連絡 ・栄養課、看護師より連絡事項 ・人事交流について・発表会について・委員会報告
12月18日	・行事の確認 ・各クラスより報告、連絡 ・栄養課、看護師より連絡事項 ・小山町行事参加について・ICT化について
1月15日	・行事の確認 ・各クラスより報告、連絡 ・栄養課、看護師より連絡事項 ・グループ内研修について・個人情報管理について
2月19日	・行事の確認 ・各クラスより報告、連絡 ・栄養課、看護師より連絡事項 ・家庭との連携について・小山町からの連絡、行事の確認・発達支援児の対応
3月12日	・行事の確認 ・各クラスより報告、連絡 ・栄養課、看護師より連絡事項 ・新年度体制について・コドモン運用の確認・卒園式について

4. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議等にて報告を行った。

月 日	内 容	職 種	人数
5/11	静岡県保育研究大会「新たな時代の保育実践」 「配慮を必要とする子どもや家庭への支援に向けて」	保育士	2
5/15	保育連合会東部支部総会「今後の乳幼児教育の行方と課題」	園 長	1
5/19	小山町幼保の会総会「これからの乳児保育のあり方」	園 長 保育士	1 2
5/26	保育士会東部睦会総会「ディズニー流接遇力を高める 5つの原則と7つの習慣」	保育士	2
6/ 5	小山町幼保の会リズム研修	保育士	2
6/12	衛生講習会「最近の食品衛生の状況」	栄養士	1
6/14	やまなみ保育士会総会「いまなぜ対話的保育か」	園 長	1
6/21 9/26, 27	キャリアアップ研修「乳幼児保育」	保育士	2
7/3	リズム研修「運動会で使えるリズム」	保育士	2
7/26	花育教室	保育士	1
7/30	小山町特別支援教育研修会	保育士	1
7/30	小山町教育講演会「こどもの体と心」	保育士	1
8/8	福祉サービス苦情解決研修会	保育士	1
8/27～29	キャリアアップ研修「幼児教育」	保育士	2
8/30, 31 9/11	キャリアアップ研修「幼児教育」	保育士	2
9/3	小山町幼保の会講演会「子どもとつくる乳幼児教育」	保育士	2
9/23	常葉保育科秋期ゼミナール「保育におけるリーダーシップ」	保育士	1

月 日	内 容	職 種	人数
10/13	保育の日研修会「選ばれる園になるための苦情処理」	保育士	2
10/15, 18, 19	キャリアアップ研修「障害児保育」	保育士	3
10/16	衛生・栄養管理研修会「給食施設の食中毒予防策」	栄養士	1
10/31	子育て支援員研修	保育士	1
11/2～3	主任保育士・主幹保育教諭研修会	保育士	1
11/12	糖尿病の栄養管理と運動	栄養士 調理師	1 1
11/28	育児相談研修会	保育士	1
11/24	施設長研修会	園 長	1
11/25	保育所職員研修会「保育要録と保育情勢について」	保育士	1
2/7	静岡県人権教育指導者研修	保育士	1
2/8	保育士・保育教諭研修会（食育）	保育士	1
2/12, 19 3/4	キャリアアップ研修「マネジメント」	保育士	2
2/15	幼児教育指導リーダー研修会	保育士	1
2/21	小山町特別支援教育研修会	保育士	1
2/25	やまなみ保育士会理事会及び研修会	園 長 保育士	1 1

5. 委員会事業報告

	活動目的	活動内容	反省及び課題
教 育	常に新しい知識・技能を吸収し、専門性の高い保育を目指す。 研修会を通して職員間の連携と情報の共有を図る。	4月 年間の活動予定 5月 リトミック研修 6月 お話ひろば 10月 園歌作成 12月 個別支援計画の作成 保育、教育理念のポスター作り 3月 1年間の反省、来年度の計画	・リトミックについての研修、取り組みを行った。3回に分けて行い、動きやポイントを確認した。 ・園歌作成に向けて子ども達や職員の思いをフレーズにし、曲づくりを行った。子ども達にも保護者にも浸透し、よい活動となった。 ・来年度はお話ひろばを充実させていきたい。
環 境	人・物・場などの環境が相互に関連し合い、子どもの活動が豊かになるよう計画的に構成する。 保育環境の整備・向上とともに、施設内外の設備・遊具等の管理をする。	保育室・園外・共同スペースの環境点検 ヒヤリ・ハットシートの管理、集計 教材の点検・補充・整頓、防災対応についての会議 花育教室の研修参加、教室の開催、花壇や道路側の球根播種作業 教材倉庫、外倉庫の整備と管理	・ヒヤリハットの事案を検証し、各クラスや園庭の危険個所を確認しマップ作りをした。また、改善できる所は、マットを敷いたり安全テープを取り付けたりした。 ・花育教室を行うため、グリーンバンク主催の研修に参加した。年長児は自分の鉢植えを作り、卒園式を花で飾ることができた。 ・園内の整備は日頃からできる事をコツコツと行っていきたい。

	活動目的	活動内容	反省及び課題
保 健 衛 生	児童および職員 の健康保持・増 進のために、施設 内外の環境衛生 管理を行う。	毎月 月末に各救急箱の回収・点 検・補充等の管理・おたより配布、緊 急処理セットの確認・補充、毎月2回 消毒液の管理 随時 掲示板にて情報提供 4月 アレルギー児童対応リスト配布、 内科健診 5月 手洗い指導・歯科健診、AED 講習、健康チェックリスト作成 6月 歯磨き指導 7月 熱中症対策 10月 嘔吐処理実践研修 2月 インフルエンザ注意喚起の掲示 3月 1年間の反省、来年度の計画	・救急箱の補充や管理、散歩用救急 セットの用意、嘔吐下痢についてまと めた物を職員に配布するなど、看護師 に頼る部分が多かったように思う。 ・保育士は各クラスでスタンプを使用し た手洗い指導をしたり、熱中症・排泄・ 手洗いうがいなど、指導に合わせた絵 本や紙芝居を用意したりして子ども達 に健康について伝えていった。 ・嘔吐処理実践では、子ども役、処理 する人役、応援者に分かれて実際の 現場を意識した方法で研修を行った。 ・次年度は子どものおしぼりや箸セット の清潔に働きかけた活動をしたい。
食 育	(児童)食物を育て る楽しさを味わう。 楽しく食事をする。 食材に興味・関心 をもつ。身近な食 材にふれる。	年間 食育ひろば掲示、クッキング 保育、年長レッツ5キッチン、季節の 食材掲示 4月 ジャがいも植え 5月 さつまいも苗さし、さといも植え 6月 野菜の苗植え 7月 ジャがいも収穫 8月 夏野菜収穫 9月 さといも収穫 10月 レッツ5キッチン 11月 さつまいも収穫、焼き芋 12月 もちつき見学1月 行事の説明 2月 レストランごっこ 3月 クッキング	・畑(野菜作り)はクラスの先生を中心に 計画、実行していった。・給食の先生達 が献立に合わせ食べ物の役割を知らせ てくれた為、子ども達が食べ物に対して 興味を持てるようになったと思う。・未満 児は食育としての活動時間がなかなか とれなかったが、各担当が協力して動 いた為、目の前で食材を切ってみせて 食材に触れられる機会を作ることができ 良かった。・給食に魚が出た時、骨を意 識しやすいように年中児へ骨取り実習 を行った。・初めてのうどん作りと旬の野 菜の話は次年度も継続したい。
広 報 ・ 写 真	壁面装飾により、 園児や保護者が季 節を感じると共に、 会話を生みコミュ ニケーションをと り、楽しい環境で すごしてもらう。園 での生活風景を写 真で記録し保護者 へ伝え成長を感じ てもらう。園のHP を活用し、行事や 子育て支援活動等 について発信し地 域に知ってもらう。	毎月 画像データ管理、印刷関係備 品の管理、HPの更新 年間 壁面装飾、掲示物管理 4月 写真の現像についての確認、デ ータ管理 11月 地区文化祭展示、壁面装飾 1月 ICT化に向け写真、個人デー タの管理 2月 卒園式シアター製作、生涯学 習フェスティバル参加 3月 コモンシステム導入に向けて の研修会、日誌・指導計画のテンプ レート作成、システム導入における 保護者への対応と説明、口座引き落 としのシステム整備と登録。	・子ども達が季節を感じられるような壁 面作りを行った。壁面は持続的に使用 できるようにラミネート加工したり、見て 楽しめる工夫もしたりしても配慮した。 ・保護者には個人情報同意書を提出し てもらったが、常にネットでの情報管理 に努めるよう、職員には確認した。 ・平成31年度4月より、ICT化となること でシステムの内容を職員で確認、対応 していく。とらのこ保育園とも連携をし、 合同職員研修を実施したりして導入に 向けた取り組みを行った。・小山町や足 柄地区との連携をした。行事に参加、 企画に向けた話し合い等に参加した。

以上